

福祉健康部地域医療課

令和元年 1 2 月定例会 厚生消防委員会

令和元年度 生駒市立病院 中間報告書

目 次

診療科目	1
病床数	2
人員体制	3
患者数	4
質の高い医療の提供	5
地域完結型の医療体制構築への寄与	8
救急医療の充実	10
小児医療の充実	12
災害時医療の確保	12
予防医療の啓発	12
市民参加による運営	13
環境に配慮した運営	13
収支	14

	病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 中間報告	令和元年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																											
診療科目	<p>14 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科</p> <p>上記以外の診療科については、市民ニーズ等の必要に応じて、指定管理者と協議し、追加できるものとします。</p>	<p>16 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科</p> <p>診察日・診察時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) 診察時間 <ul style="list-style-type: none"> 午前診察 9:00～12:00 夕方診察 17:00～19:00 (土曜日除く) 受付時間 <ul style="list-style-type: none"> 午前診察 8:00～12:00 夕方診察 16:30～19:00 (土曜日除く) <p>・既存の診療科の医療内容の充実を目指し、常勤医師の確保を図ります。</p> <p>・患者の医療ニーズに対応するため、引き続き、専門外来の充実、院内の診療科間の連携及びより高次、専門性の高い医療機関との連携を進めます。</p>	<p>16 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科</p> <p>診察日・診察時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) 診察時間 <ul style="list-style-type: none"> 午前診察 9:00～12:00 夕方診察 17:00～19:00 (土曜日除く) 受付時間 <ul style="list-style-type: none"> 午前診察 8:00～12:00 夕方診察 16:30～19:00 (土曜日除く) <p>既存の診療科について、常勤医師(内科・救急科)の確保を図りました。また、より高次、専門性の高い医療機関との連携体制(小児科、脳神経外科等における近畿大学奈良病院や奈良県総合医療センターとの連携体制)を推進しました。</p>	<p><診療科目></p> <p>令和元年度上半期において、診療科の変更なし</p> <ul style="list-style-type: none"> 皮膚科 医師育児休業中(R2.3月まで) 内科 医師他院にて研修中(R1.12月まで) 整形外科 1日の外来患者数が100人を超えた日が常態化し、入院診療等への影響が生じる恐れがあったため、6/25以降外来診療制限を実施している。なお、受診希望の患者に対しては、患者と相談のうえ、他院への紹介で対応した。 <p><その他></p> <table border="1" data-bbox="1528 510 2297 1230"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>開始時期</th> <th>診察時間</th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合診療科(内科系、外科系を含めて総合的に診察)</td> <td>H27.7～</td> <td>月～金 17:00～</td> <td>1,387件</td> <td>1,418件</td> </tr> <tr> <td>大学の腎臓泌尿器科教授による特別外来</td> <td>H27.9～</td> <td>月2回PM</td> <td>140件</td> <td>124件</td> </tr> <tr> <td>がん治療相談外来 ※1 (放射線科)</td> <td>H27.10～</td> <td>週1回AM</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ペイン(痛み)外来(麻酔科)</td> <td>H27.11～</td> <td>月1回AM</td> <td>145件</td> <td>102件</td> </tr> <tr> <td>助産外来 ※1 (産婦人科)</td> <td>H28.4～</td> <td>週1回PM</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>フットケア外来(形成外科)</td> <td>H28.6～</td> <td>週3回AM</td> <td>354件</td> <td>287件</td> </tr> <tr> <td>乳腺・甲状腺外来(外科)</td> <td>H29.10～</td> <td>週1回AM</td> <td>676件</td> <td>340件</td> </tr> <tr> <td>小児アレルギー外来(小児科)</td> <td>H30.12～</td> <td>週1回PM</td> <td>21件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>まぶた外来 ※2 (形成外科)</td> <td>H28.12～</td> <td rowspan="3">週2回PM 週1回AM 専門外来を開設</td> <td rowspan="3">439件</td> <td rowspan="3">305件</td> </tr> <tr> <td>アンチエイジング外来 ※2 (形成外科)</td> <td>H29.4～</td> </tr> <tr> <td>レーザー外来 ※2 (形成外科)</td> <td>H29.8～</td> </tr> <tr> <td>下肢静脈瘤外来 ※2 (形成外科)</td> <td>H31.4～</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 がん治療相談外来、助産外来については、一般外来患者数に含めて算出しているため、件数の算出が不可能</p> <p>※2 まぶた外来・アンチエイジング外来・レーザー外来・下肢静脈瘤外来については、担当医が同一であるため、件数を合算している。</p> <p><下肢静脈瘤外来></p> <p>平成31年4月から下肢静脈瘤に対して、血管内焼灼術、静脈除去術、硬化療法、色素レーザーによる病変の治療を症状に合わせて選択し、治療を行います。</p> <p><高次、専門性の高い医療機関との連携実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 近畿大学奈良病院：消化器内科、血液内科、小児科(NICU)、皮膚科、心臓血管外科、耳鼻咽喉科、外科、呼吸器内科、呼吸器外科、膠原病内科等との連携 奈良県総合医療センター：脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器内科、消化器外科、耳鼻咽喉科、循環器内科、産婦人科、血液内科、外科、歯科口腔外科等との連携 	内容	開始時期	診察時間	R1中間	H30中間	総合診療科(内科系、外科系を含めて総合的に診察)	H27.7～	月～金 17:00～	1,387件	1,418件	大学の腎臓泌尿器科教授による特別外来	H27.9～	月2回PM	140件	124件	がん治療相談外来 ※1 (放射線科)	H27.10～	週1回AM			ペイン(痛み)外来(麻酔科)	H27.11～	月1回AM	145件	102件	助産外来 ※1 (産婦人科)	H28.4～	週1回PM			フットケア外来(形成外科)	H28.6～	週3回AM	354件	287件	乳腺・甲状腺外来(外科)	H29.10～	週1回AM	676件	340件	小児アレルギー外来(小児科)	H30.12～	週1回PM	21件		まぶた外来 ※2 (形成外科)	H28.12～	週2回PM 週1回AM 専門外来を開設	439件	305件	アンチエイジング外来 ※2 (形成外科)	H29.4～	レーザー外来 ※2 (形成外科)	H29.8～	下肢静脈瘤外来 ※2 (形成外科)	H31.4～				<p>○高次、専門性の高い医療機関である近畿大学奈良病院及び奈良県総合医療センターと幅広い診療科において、病病連携している。</p> <p>○内科常勤医師が増員となったことにより、前年度同期に比して入院・外来ともに患者数が増加している。</p> <p>○形成外科の専門外来、乳腺・甲状腺外来等の受診者数が増加しており、市民ニーズに対応できている。</p> <p>○下肢静脈瘤外来を開設するなど質の高い医療の提供を目指し、特定の疾患や症状について、専門的な診療・治療を行う専門外来の機能が充実してきている。</p> <p>課題</p> <p>今後も市内の医療ニーズや患者動向を注視しながら、常勤医師の確保やさらなる病病連携の推進など質の高い医療の提供を目指し、さらに専門外来の充実を図る必要がある。</p>
内容	開始時期	診察時間	R1中間	H30中間																																																												
総合診療科(内科系、外科系を含めて総合的に診察)	H27.7～	月～金 17:00～	1,387件	1,418件																																																												
大学の腎臓泌尿器科教授による特別外来	H27.9～	月2回PM	140件	124件																																																												
がん治療相談外来 ※1 (放射線科)	H27.10～	週1回AM																																																														
ペイン(痛み)外来(麻酔科)	H27.11～	月1回AM	145件	102件																																																												
助産外来 ※1 (産婦人科)	H28.4～	週1回PM																																																														
フットケア外来(形成外科)	H28.6～	週3回AM	354件	287件																																																												
乳腺・甲状腺外来(外科)	H29.10～	週1回AM	676件	340件																																																												
小児アレルギー外来(小児科)	H30.12～	週1回PM	21件																																																													
まぶた外来 ※2 (形成外科)	H28.12～	週2回PM 週1回AM 専門外来を開設	439件	305件																																																												
アンチエイジング外来 ※2 (形成外科)	H29.4～																																																															
レーザー外来 ※2 (形成外科)	H29.8～																																																															
下肢静脈瘤外来 ※2 (形成外科)	H31.4～																																																															

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 31 年度 事業計画	令和元年度 中間報告	令和元年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																														
病床数	病床数 210 床	(平成 32 年 3 月 31 日) 実稼働可能病床数 210 床	(令和元年 9 月 30 日) 実稼働可能病床数 210 床	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実稼働可能病床数</td> <td>210</td> <td>210</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>産婦人科</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>△ 1</td> </tr> <tr> <td>内科系</td> <td>87</td> <td>87</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>外科系</td> <td>91</td> <td>91</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>HCU</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		R1中間	H30	増減	実稼働可能病床数	210	210	0	小児科	5	5	0	産婦人科	19	20	△ 1	内科系	87	87	0	外科系	91	91	0	HCU	8	7	1	<p>○HCUを1床増床させたことにより、重症患者及び術後患者の増加に備え、治療体制の充実が図られている。</p> <p>課題 病床利用率を向上させるためにも、不足する診療科の常勤医師の確保並びに病病連携及び病診連携をより一層進める必要がある。また、小児科の救急医療、入院医療体制の構築のため、小児科常勤医師の増員を図る必要がある。</p>		
		R1中間	H30	増減																															
実稼働可能病床数	210	210	0																																
小児科	5	5	0																																
産婦人科	19	20	△ 1																																
内科系	87	87	0																																
外科系	91	91	0																																
HCU	8	7	1																																
ICU 7 床 小児科 20 床 産婦人科 20 床 内科系 79 床 外科系 84 床	小児科 5 床 産婦人科 20 床 内科系 87 床 外科系 90 床 HCU 8 床	小児科 5 床 産婦人科 19 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 8 床	<p>看護基準 12月以降10対1から7対1へアップする予定であり、入院患者に対するケアの充実など、看護体制のさらなる充実に向けての取組が行われている。</p> <p>がん登録件数 (H30年度4月～9月：103件→R元年度4月～9月：110件) 7件増加</p> <p>1日平均病床利用率 (H30年度4月～9月：57%→R元年度4月～9月：60%)</p> <p>4階西病棟 小児科・産婦人科と女性の一般患者を対象とした混合病棟</p> <p>4階東病棟 整形外科、腎臓泌尿器科</p> <p>5階西病棟 循環器内科、血管外科、形成外科、一般内科</p> <p>5階東病棟 外科、消化器内科</p> <p><HCU (High Care Unit)> ・準集中治療室 ・専任の常勤医師が常時院内に勤務していることが必要 ・看護基準 4対1</p> <p><参考：HCUの稼働状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>延べ患者数</th> <th>5床以上使用日数</th> <th>病床利用率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>178</td> <td>30</td> <td>84.8</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>186</td> <td>30</td> <td>85.7</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>158</td> <td>22</td> <td>75.2</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>198</td> <td>30</td> <td>79.8</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>170</td> <td>29</td> <td>68.5</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>184</td> <td>30</td> <td>76.7</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,074</td> <td>171</td> <td>78.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>1日最大稼働病床数 (R元年度4月～9月) 165床 (病床利用率：165床÷210床=79%)</p> <p>新入院患者数 (R元年9月) 203人</p> <p>平均在院日数 (R元年9月) 15.7日</p>	月	延べ患者数	5床以上使用日数	病床利用率(%)	4	178	30	84.8	5	186	30	85.7	6	158	22	75.2	7	198	30	79.8	8	170	29	68.5	9	184	30	76.7	合計	1,074	171	78.2
月	延べ患者数	5床以上使用日数	病床利用率(%)																																
4	178	30	84.8																																
5	186	30	85.7																																
6	158	22	75.2																																
7	198	30	79.8																																
8	170	29	68.5																																
9	184	30	76.7																																
合計	1,074	171	78.2																																

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 31 年度 事業計画		令和元年度 中間報告		令和元年度 中間報告の補足説明						取組の評価・課題																																																																																																																																																																																																																																																																																	
人員体制	人員体制については、開院当初は、1 日平均想定患者数(外来 300 名、入院 140 名と仮定)による医療法規定人員数に基づき、次のとおり整えます。			(平成32年3月31日)		(令和元年9月30日現在)																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>医師</td><td>25名</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>80名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>6名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td rowspan="3">3名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>6名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>7名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>2名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>29名</td></tr> <tr><td>事務職員等</td><td>40名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>198名</td></tr> </tbody> </table>		職種	人数	医師	25名	看護師	80名	薬剤師	6名	理学療法士	3名	作業療法士	言語聴覚士	放射線技師	6名	検査技師	7名	栄養士	2名	看護助手	29名	事務職員等	40名	合計	198名																																																																																																																																																																																																																																																																			
	職種	人数																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	医師	25名																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	看護師	80名																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	薬剤師	6名																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	理学療法士	3名																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	作業療法士																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	言語聴覚士																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	放射線技師	6名																																																																																																																																																																																																																																																																																											
検査技師	7名																																																																																																																																																																																																																																																																																												
栄養士	2名																																																																																																																																																																																																																																																																																												
看護助手	29名																																																																																																																																																																																																																																																																																												
事務職員等	40名																																																																																																																																																																																																																																																																																												
合計	198名																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		常勤		常勤換算数		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">R1中間</th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">増減</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>常勤</th> <th>常勤換算</th> <th>常勤</th> <th>常勤換算</th> <th>常勤</th> <th>常勤換算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="13">医師</td><td>内科</td><td>4</td><td>4.9</td><td>3</td><td>3.8</td><td>1</td><td>1.1</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>0</td><td>0.2</td><td>0</td><td>0.6</td><td>0</td><td>△ 0.4</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2</td><td>2.0</td><td>2</td><td>2.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>外科</td><td>2</td><td>2.0</td><td>2</td><td>2.1</td><td>0</td><td>△ 0.1</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>0</td><td>0.1</td><td>0</td><td>0.2</td><td>0</td><td>△ 0.1</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>1</td><td>1.3</td><td>1</td><td>1.1</td><td>0</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>1</td><td>1.3</td><td>3</td><td>3.2</td><td>△ 2</td><td>△ 1.9</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>1</td><td>1.2</td><td>1</td><td>1.1</td><td>0</td><td>0.1</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>1</td><td>1.2</td><td>2</td><td>2.2</td><td>△ 1</td><td>△ 1.0</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>1</td><td>2.1</td><td>1</td><td>2.5</td><td>0</td><td>△ 0.4</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>1</td><td>1.1</td><td>1</td><td>1.0</td><td>0</td><td>0.1</td></tr> <tr><td>救急科</td><td>1</td><td>2.7</td><td>0</td><td>1.9</td><td>1</td><td>0.8</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>1</td><td>1.2</td><td>1</td><td>1.5</td><td>0</td><td>△ 0.3</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>1</td><td>1.0</td><td>1</td><td>1.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>1</td><td>1.4</td><td>1</td><td>1.2</td><td>0</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>計</td><td>18</td><td>23.5</td><td>19</td><td>25.6</td><td>△ 1</td><td>△ 2.1</td></tr> <tr><td rowspan="5">看護師</td><td>外来部門</td><td>36</td><td>42.1</td><td>31</td><td>37.1</td><td>5</td><td>5.0</td></tr> <tr><td>入院部門</td><td>85</td><td>91.7</td><td>80</td><td>85.1</td><td>5</td><td>6.6</td></tr> <tr><td>内) 准看護師</td><td>3</td><td>3.0</td><td>5</td><td>5.0</td><td>△ 2</td><td>△ 2.0</td></tr> <tr><td>内) 助産師</td><td>13</td><td>14.3</td><td>12</td><td>13.3</td><td>1</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>内) 保健師</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>計</td><td>121</td><td>133.6</td><td>111</td><td>122.2</td><td>10</td><td>11.4</td></tr> <tr><td rowspan="8">その他</td><td>薬剤師</td><td>11</td><td>11.8</td><td>9</td><td>9.8</td><td>2</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>12</td><td>12.0</td><td>10</td><td>10.0</td><td>2</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>2</td><td>2.0</td><td>1</td><td>1.0</td><td>1</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>2</td><td>2.0</td><td>2</td><td>2.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>8</td><td>8.0</td><td>8</td><td>8.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>10</td><td>10.0</td><td>7</td><td>7.0</td><td>3</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>3</td><td>3.0</td><td>3</td><td>3.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>20</td><td>20.0</td><td>19</td><td>19.0</td><td>1</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>5</td><td>5.0</td><td>3</td><td>3.0</td><td>2</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>事務職員等</td><td>46</td><td>50.1</td><td>45</td><td>49.4</td><td>1</td><td>0.7</td></tr> <tr><td>計</td><td>119</td><td>123.9</td><td>107</td><td>112.2</td><td>12</td><td>11.7</td></tr> <tr><td>合計</td><td>258</td><td>280.9</td><td>237</td><td>260.0</td><td>21</td><td>20.9</td></tr> </tbody> </table>								R1中間		H30		増減				常勤	常勤換算	常勤	常勤換算	常勤	常勤換算	医師	内科	4	4.9	3	3.8	1	1.1	消化器内科	0	0.2	0	0.6	0	△ 0.4	循環器内科	2	2.0	2	2.0	0	0.0	外科	2	2.0	2	2.1	0	△ 0.1	脳神経外科	0	0.1	0	0.2	0	△ 0.1	整形外科	1	1.3	1	1.1	0	0.2	形成外科	1	1.3	3	3.2	△ 2	△ 1.9	小児科	1	1.2	1	1.1	0	0.1	腎臓泌尿器科	1	1.2	2	2.2	△ 1	△ 1.0	産婦人科	1	2.1	1	2.5	0	△ 0.4	リハビリテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	放射線科	1	1.1	1	1.0	0	0.1	救急科	1	2.7	0	1.9	1	0.8	麻酔科	1	1.2	1	1.5	0	△ 0.3	血管外科	1	1.0	1	1.0	0	0.0	皮膚科	1	1.4	1	1.2	0	0.2	計	18	23.5	19	25.6	△ 1	△ 2.1	看護師	外来部門	36	42.1	31	37.1	5	5.0	入院部門	85	91.7	80	85.1	5	6.6	内) 准看護師	3	3.0	5	5.0	△ 2	△ 2.0	内) 助産師	13	14.3	12	13.3	1	1.0	内) 保健師	0	0.0	0	0.0	0	0.0	計	121	133.6	111	122.2	10	11.4	その他	薬剤師	11	11.8	9	9.8	2	2.0	理学療法士	12	12.0	10	10.0	2	2.0	作業療法士	2	2.0	1	1.0	1	1.0	言語聴覚士	2	2.0	2	2.0	0	0.0	放射線技師	8	8.0	8	8.0	0	0.0	検査技師	10	10.0	7	7.0	3	3.0	栄養士	3	3.0	3	3.0	0	0.0	看護助手	20	20.0	19	19.0	1	1.0	臨床工学技士	5	5.0	3	3.0	2	2.0	事務職員等	46	50.1	45	49.4	1	0.7	計	119	123.9	107	112.2	12	11.7	合計	258	280.9	237	260.0	21	20.9										
		R1中間		H30		増減																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		常勤	常勤換算	常勤	常勤換算	常勤	常勤換算																																																																																																																																																																																																																																																																																						
医師	内科	4	4.9	3	3.8	1	1.1																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	消化器内科	0	0.2	0	0.6	0	△ 0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	循環器内科	2	2.0	2	2.0	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	外科	2	2.0	2	2.1	0	△ 0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	脳神経外科	0	0.1	0	0.2	0	△ 0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	整形外科	1	1.3	1	1.1	0	0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	形成外科	1	1.3	3	3.2	△ 2	△ 1.9																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	小児科	1	1.2	1	1.1	0	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	腎臓泌尿器科	1	1.2	2	2.2	△ 1	△ 1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	産婦人科	1	2.1	1	2.5	0	△ 0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	リハビリテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	放射線科	1	1.1	1	1.0	0	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	救急科	1	2.7	0	1.9	1	0.8																																																																																																																																																																																																																																																																																						
麻酔科	1	1.2	1	1.5	0	△ 0.3																																																																																																																																																																																																																																																																																							
血管外科	1	1.0	1	1.0	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																							
皮膚科	1	1.4	1	1.2	0	0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																							
計	18	23.5	19	25.6	△ 1	△ 2.1																																																																																																																																																																																																																																																																																							
看護師	外来部門	36	42.1	31	37.1	5	5.0																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	入院部門	85	91.7	80	85.1	5	6.6																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	内) 准看護師	3	3.0	5	5.0	△ 2	△ 2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	内) 助産師	13	14.3	12	13.3	1	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	内) 保健師	0	0.0	0	0.0	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																						
計	121	133.6	111	122.2	10	11.4																																																																																																																																																																																																																																																																																							
その他	薬剤師	11	11.8	9	9.8	2	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	理学療法士	12	12.0	10	10.0	2	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	作業療法士	2	2.0	1	1.0	1	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	言語聴覚士	2	2.0	2	2.0	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	放射線技師	8	8.0	8	8.0	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	検査技師	10	10.0	7	7.0	3	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	栄養士	3	3.0	3	3.0	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	看護助手	20	20.0	19	19.0	1	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																						
臨床工学技士	5	5.0	3	3.0	2	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																							
事務職員等	46	50.1	45	49.4	1	0.7																																																																																																																																																																																																																																																																																							
計	119	123.9	107	112.2	12	11.7																																																																																																																																																																																																																																																																																							
合計	258	280.9	237	260.0	21	20.9																																																																																																																																																																																																																																																																																							
						<p>○深夜帯の病棟看護師の増員など、さらなる看護ケアの充実を目指し、10対1の看護基準から7対1に向けて看護師の増員が行われている。</p> <p>○薬剤師の増員により、病棟薬剤管理をはじめ入院患者への薬剤に関する説明等病棟薬剤業務の充実が図られている。</p> <p>○検査技師の増員により、生理検査部門の充実及び看護師の業務負担軽減のための外来採血業務の実施準備などが図られている。</p> <p>○理学療法士及び作業療法士の増員により、急性期リハビリテーションの体制整備が図られている。</p> <p>○医師事務作業補助者を増員し、カルテの代行入力や診断書、紹介状等の各種文書作成等さらなる医師の業務負担軽減が進められている。</p> <p>○医療従事者の育児休業からの復職支援として時短勤務を導入するなど、出産、育児といったライフステージに応じた就労支援の取組がなされている。</p> <p>○多職種連携会議を毎月1回開催することにより、チーム医療の充実や多職種の効率的な稼働につながり、医師の業務負担の軽減、患者のケアの向上並びに広報及び医療講演の充実につながっている。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		○医療従事者の確保の方法について (医師の確保) 特に常勤医師が不足している脳神経外科、救急科、小児科、産婦人科の診療科を中心に、常勤医師の確保、増員を図ります。 医師事務作業補助者を増員し、医師の業務負担の軽減を図るなど、引き続き勤務環境の改善を行います。 (看護師、医療スタッフ等の確保) 引き続き学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、再就職支援のための研修、多様な勤務形態の導入等を行います。 研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に継続して取り組みます。 リハビリテーション科については、入院患者の廃用症候群の防止、機能回復の促進により、早期の社会復帰を目指し、理学療法の 365 日の稼働が可能になるよう実施を目指し、理学療法士の増員を図ります。また、作業療法士、言語聴覚士についても引き続き確保に取り組みます。		○医療従事者の確保について (医師の確保) 常勤医師に関しては、勤務希望者の募集により、救急科 1 名及び内科 1 名が入職しました。 医師事務作業補助者を 1 名増員させたことにより、さらなる医師の業務負担軽減のための勤務環境改善の取組がなされている。 (看護師、医療スタッフ等の確保) 学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、多様な勤務形態の導入等を行いました。 研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に取り組みました。 リハビリテーション科については、理学療法士を 2 名、作業療法士を 1 名増員し、入院患者の廃用症候群の防止、機能回復の促進となりました。		<p><常勤換算数> 常勤換算数＝非常勤職員の勤務時間の合計÷常勤職員が勤務するべき時間</p> <p><常勤医師の確保> 勤務希望者の募集による確保 2 名</p> <p><令和元年 9 月 30 日現在の非常勤職員数> 医師 52 名、看護師 20 名、その他 8 名</p> <p><医師の業務軽減> ・医師事務作業補助者 7 名 (内科系 1 名、外科 1 名、整形外科 1 名、産婦人科 1 名、形成外科・小児科・皮膚科 2 名、フリー 1 名)</p> <p>・多職種連携会議 (看護師、事務・コメディカル各責任者による業務分担の調整等) の開催</p> <p><看護師、医療スタッフ等の確保対策> ・院内保育所の設置 利用スタッフ数 20 名</p> <p>・研修参加費用の補助 学会への出張旅費等</p> <p>・看護実習生の受入 406 名</p> <p><専門的な知識と技術を持った看護師> 認定看護管理者 1 名、がん化学療法看護認定看護師 1 名、慢性腎臓病療養指導看護師 1 名、透析技術認定士 1 名、フットケア指導士 1 名 糖尿病療養指導士 1 名 (延べ人数)</p> <p><専門的な知識と技術を持った薬剤師> 漢方薬・生薬認定薬剤師 1 名、外来がん治療認定薬剤師 1 名、NST 専門療法士※1 名 糖尿病指導療法士 1 名 サプリメントアドバイザー 1 名 (延べ人数)</p> <p>※NST (栄養サポートチーム) 専門療法士とは、入院患者を対象に最良の栄養サポートを行う管理栄養士等が目指す資格のこと。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																							
						<p>課題</p> <p>二次救急医療を充実させるため、引き続き不足する脳神経外科、産婦人科、小児科の常勤医師の確保・増員を行う必要がある。</p> <p>また、前年度よりも外来患者数が減少傾向にある消化器内科、整形外科、皮膚科などの各診療科については、常勤医師を確保・増員するまでの間、病病連携・病診連携や非常勤医師の確保・増員により、外来診療体制の維持に努める必要がある。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																							

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 中間報告	令和元年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
患者数	1 日平均患者数	1 日平均患者数	<入院>	<p>○内科の常勤医師の確保によって、内科の入院・外来患者数がともに増加している。</p> <p>○外科領域の治療可能な症例が増え、外科の入院・外来患者数がともに増加している。</p> <p>○病院だよりの定期的な発行をはじめ、院内の広報委員会による広報活動の取り組みの強化など市民への周知の取組の強化が進められている。</p> <p>○地域の医療機関への情報提供等訪問回数が大幅に増加しており、地域の医療機関への周知の取り組みが強化されている。</p> <p>課題 今後、常勤医師の育児休業等長期休業取得に際しては、病病連携等の充実や非常勤医師の確保などにより、診療体制の維持に努める必要がある。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>150.0 人</td><td>220.5 人</td></tr> <tr><td>5月</td><td>150.0 人</td><td>220.5 人</td></tr> <tr><td>6月</td><td>155.0 人</td><td>221.0 人</td></tr> <tr><td>7月</td><td>155.0 人</td><td>222.0 人</td></tr> <tr><td>8月</td><td>155.0 人</td><td>227.0 人</td></tr> <tr><td>9月</td><td>160.0 人</td><td>227.0 人</td></tr> <tr><td>10月</td><td>160.0 人</td><td>227.0 人</td></tr> <tr><td>11月</td><td>160.0 人</td><td>232.0 人</td></tr> <tr><td>12月</td><td>165.0 人</td><td>232.0 人</td></tr> <tr><td>1月</td><td>165.0 人</td><td>237.0 人</td></tr> <tr><td>2月</td><td>165.0 人</td><td>237.0 人</td></tr> <tr><td>3月</td><td>165.0 人</td><td>237.0 人</td></tr> <tr><td>年間平均</td><td>158.7 人</td><td>228.3 人</td></tr> </tbody> </table> <p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組 特に入院医療に対応できる常勤医師の確保、地域医療機関との病病・病診連携の推進及び救急患者の確実な受け入れのほか、市立病院の医療に関する必要な情報を積極的に提供することにより、入院・外来患者数の増加を目指します。</p> <p>(市民への周知の取組) ・ホームページ、SNS (ツイッター、Face book)、病院だより、鉄道の車内広告等による広報活動の推進</p> <p>(地域の医療機関への周知の取組) ・地域の医療機関への情報提供の推進</p> <p>・病診連携懇話会の開催</p>		入院		外来	4月	150.0 人	220.5 人	5月	150.0 人	220.5 人	6月	155.0 人	221.0 人	7月	155.0 人	222.0 人	8月	155.0 人	227.0 人	9月	160.0 人	227.0 人	10月	160.0 人	227.0 人	11月	160.0 人	232.0 人	12月	165.0 人	232.0 人	1月	165.0 人	237.0 人	2月	165.0 人	237.0 人	3月	165.0 人	237.0 人	年間平均	158.7 人	228.3 人	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>126.0 人</td><td>206.9 人</td></tr> <tr><td>5月</td><td>135.8 人</td><td>207.6 人</td></tr> <tr><td>6月</td><td>135.9 人</td><td>224.9 人</td></tr> <tr><td>7月</td><td>134.2 人</td><td>210.6 人</td></tr> <tr><td>8月</td><td>122.2 人</td><td>205.0 人</td></tr> <tr><td>9月</td><td>106.1 人</td><td>199.4 人</td></tr> <tr><td>上半期平均</td><td>126.8 人</td><td>209.1 人</td></tr> </tbody> </table> <p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組 地域医療機関との連携推進のほか、市民や地域の医療機関へ、市立病院の医療に関する必要な情報をそれぞれ積極的に提供しているものの、常勤医師の確保・増員が進まず、入院・外来患者数ともに計画を下回りましたが、前年度と比較すると増加しました。</p> <p>(市民への周知の取組) ・6月から院内に広報委員会(総務課等各部門から委員1名を選出し、月1回会議開催)を立上げ、広報活動の強化のための体制づくりを図りました。</p> <p>・広報委員によるホームページ、ブログ等のチェック、随時更新の実施</p> <p>・病院だよりの発行 (令和元年8月以降毎月1日発行)</p> <p>・医療講演会 28 講座 参加者 728 名 出張講演会の募集を開始しています。(下半期は自治会へ啓発予定)</p> <p>(地域の医療機関への周知の取組) ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 802 件(H30 年度上半期 123 件)</p> <p>・病診連携懇話会は来年度に開催予定</p>		入院	外来	4月	126.0 人	206.9 人	5月	135.8 人	207.6 人	6月	135.9 人	224.9 人	7月	134.2 人	210.6 人	8月	122.2 人	205.0 人	9月	106.1 人	199.4 人	上半期平均	126.8 人	209.1 人	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R1中間</th> <th colspan="2">H30中間</th> <th colspan="2">増減</th> </tr> <tr> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>4,214</td><td>23.0</td><td>3,392</td><td>18.5</td><td>822</td><td>4.5</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>441</td><td>2.4</td><td>930</td><td>5.1</td><td>△ 489</td><td>△ 2.7</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2,682</td><td>14.7</td><td>981</td><td>5.4</td><td>1,701</td><td>9.3</td></tr> <tr><td>外科</td><td>4,662</td><td>25.5</td><td>4,487</td><td>24.5</td><td>175</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>4,983</td><td>27.2</td><td>4,020</td><td>22.0</td><td>963</td><td>5.2</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>2,199</td><td>12.0</td><td>2,534</td><td>13.9</td><td>△ 335</td><td>△ 1.9</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>177</td><td>1.0</td><td>232</td><td>1.3</td><td>△ 55</td><td>△ 0.3</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>461</td><td>2.5</td><td>476</td><td>2.6</td><td>△ 15</td><td>△ 0.1</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>850</td><td>4.6</td><td>900</td><td>4.9</td><td>△ 50</td><td>△ 0.3</td></tr> <tr><td>リハビ°リテーション科</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>2,531</td><td>13.8</td><td>3,979</td><td>21.7</td><td>△ 1,448</td><td>△ 7.9</td></tr> <tr><td>計</td><td>23,200</td><td>126.8</td><td>21,931</td><td>119.9</td><td>1,269</td><td>6.9</td></tr> </tbody> </table> <p>※循環器内科入院患者の増加、血管外科入院患者の減少については、両診療科兼任医師が、血管外科の患者数を循環器内科で算定したため。</p> <p><外来></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R1中間</th> <th colspan="2">H30中間</th> <th colspan="2">増減</th> </tr> <tr> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>8,028</td><td>43.9</td><td>6,535</td><td>35.7</td><td>1,493</td><td>8.2</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>768</td><td>4.2</td><td>1,226</td><td>6.7</td><td>△ 458</td><td>△ 2.5</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>3,034</td><td>16.6</td><td>2,762</td><td>15.1</td><td>272</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>外科</td><td>3,912</td><td>21.4</td><td>3,555</td><td>19.4</td><td>357</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>504</td><td>2.8</td><td>448</td><td>2.4</td><td>56</td><td>0.4</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>7,565</td><td>41.3</td><td>8,004</td><td>43.7</td><td>△ 439</td><td>△ 2.4</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>4,244</td><td>23.2</td><td>3,669</td><td>20.1</td><td>575</td><td>3.1</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>811</td><td>4.4</td><td>733</td><td>4.0</td><td>78</td><td>0.4</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>2,213</td><td>12.1</td><td>1,922</td><td>10.5</td><td>291</td><td>1.6</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>2,149</td><td>11.7</td><td>2,151</td><td>11.8</td><td>△ 2</td><td>△ 0.1</td></tr> <tr><td>リハビ°リテーション科</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>324</td><td>1.8</td><td>277</td><td>1.5</td><td>47</td><td>0.3</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>79</td><td>0.4</td><td>102</td><td>0.6</td><td>△ 23</td><td>△ 0.2</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>269</td><td>1.5</td><td>365</td><td>2.0</td><td>△ 96</td><td>△ 0.5</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>1,220</td><td>6.7</td><td>2,824</td><td>15.4</td><td>△ 1,604</td><td>△ 8.7</td></tr> <tr><td>透析</td><td>1,580</td><td>8.6</td><td>1,140</td><td>6.2</td><td>440</td><td>2.4</td></tr> <tr><td>健診科・ドック</td><td>1,558</td><td>8.5</td><td>1,094</td><td>6.0</td><td>464</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>計</td><td>38,258</td><td>209.1</td><td>36,807</td><td>201.1</td><td>1,451</td><td>8.0</td></tr> </tbody> </table> <p>参考：達成率 (上半期実績平均÷上半期計画平均)</p> <p>・入院：126.8 人÷154.2 人= 82.2%</p> <p>・外来：209.1 人÷223.0 人= 93.8%</p> <p><Facebook の掲載例></p> <p>・公開医療講座のお知らせ</p> <p>・形成外科専門外来のお知らせ</p> <p>・地域医療講演会のお知らせ</p> <p><情報発信モニターの掲載例></p> <p>・診療科の案内</p> <p>・薬の案内</p> <p>・人間ドック・脳ドックの案内</p> <p><医療講演会の内容例></p> <p>・高血圧について</p> <p>・糖尿病の検査について</p> <p>・漢方薬の基本について</p> <p>・がんの早期発見 (たけまる健康講座 in よしもと芸術文化祭)</p> <p>・下肢静脈瘤の治療 (たけまる健康講座 in よしもと芸術文化祭)</p> <p><地域の医療機関への情報提供等の内容例></p> <p>新任医師の紹介、外来予定表、医療講演会の案内など</p>		R1中間		H30中間		増減		延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	内科	4,214	23.0	3,392	18.5	822	4.5	消化器内科	441	2.4	930	5.1	△ 489	△ 2.7	循環器内科	2,682	14.7	981	5.4	1,701	9.3	外科	4,662	25.5	4,487	24.5	175	1.0	整形外科	4,983	27.2	4,020	22.0	963	5.2	形成外科	2,199	12.0	2,534	13.9	△ 335	△ 1.9	小児科	177	1.0	232	1.3	△ 55	△ 0.3	腎臓泌尿器科	461	2.5	476	2.6	△ 15	△ 0.1	産婦人科	850	4.6	900	4.9	△ 50	△ 0.3	リハビ°リテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	血管外科	2,531	13.8	3,979	21.7	△ 1,448	△ 7.9	計	23,200	126.8	21,931	119.9	1,269	6.9		R1中間		H30中間		増減		延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	内科	8,028	43.9	6,535	35.7	1,493	8.2	消化器内科	768	4.2	1,226	6.7	△ 458	△ 2.5	循環器内科	3,034	16.6	2,762	15.1	272	1.5	外科	3,912	21.4	3,555	19.4	357	2.0	脳神経外科	504	2.8	448	2.4	56	0.4	整形外科	7,565	41.3	8,004	43.7	△ 439	△ 2.4	形成外科	4,244	23.2	3,669	20.1	575	3.1	小児科	811	4.4	733	4.0	78	0.4	腎臓泌尿器科	2,213	12.1	1,922	10.5	291	1.6	産婦人科	2,149	11.7	2,151	11.8	△ 2	△ 0.1	リハビ°リテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	放射線科	324	1.8	277	1.5	47	0.3	麻酔科	79	0.4	102	0.6	△ 23	△ 0.2	血管外科	269	1.5	365	2.0	△ 96	△ 0.5	皮膚科	1,220	6.7	2,824	15.4	△ 1,604	△ 8.7	透析	1,580	8.6	1,140	6.2	440	2.4	健診科・ドック	1,558	8.5	1,094	6.0	464	2.5	計	38,258	209.1	36,807	201.1
	入院	外来																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
4月	150.0 人	220.5 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
5月	150.0 人	220.5 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6月	155.0 人	221.0 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
7月	155.0 人	222.0 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
8月	155.0 人	227.0 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
9月	160.0 人	227.0 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
10月	160.0 人	227.0 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11月	160.0 人	232.0 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
12月	165.0 人	232.0 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1月	165.0 人	237.0 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
2月	165.0 人	237.0 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
3月	165.0 人	237.0 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
年間平均	158.7 人	228.3 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	入院	外来																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
4月	126.0 人	206.9 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
5月	135.8 人	207.6 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6月	135.9 人	224.9 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
7月	134.2 人	210.6 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
8月	122.2 人	205.0 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
9月	106.1 人	199.4 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
上半期平均	126.8 人	209.1 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	R1中間		H30中間		増減																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
内科	4,214	23.0	3,392	18.5	822	4.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
消化器内科	441	2.4	930	5.1	△ 489	△ 2.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
循環器内科	2,682	14.7	981	5.4	1,701	9.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
外科	4,662	25.5	4,487	24.5	175	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
整形外科	4,983	27.2	4,020	22.0	963	5.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
形成外科	2,199	12.0	2,534	13.9	△ 335	△ 1.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
小児科	177	1.0	232	1.3	△ 55	△ 0.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
腎臓泌尿器科	461	2.5	476	2.6	△ 15	△ 0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
産婦人科	850	4.6	900	4.9	△ 50	△ 0.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
リハビ°リテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
血管外科	2,531	13.8	3,979	21.7	△ 1,448	△ 7.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
計	23,200	126.8	21,931	119.9	1,269	6.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	R1中間		H30中間		増減																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
内科	8,028	43.9	6,535	35.7	1,493	8.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
消化器内科	768	4.2	1,226	6.7	△ 458	△ 2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
循環器内科	3,034	16.6	2,762	15.1	272	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
外科	3,912	21.4	3,555	19.4	357	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
脳神経外科	504	2.8	448	2.4	56	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
整形外科	7,565	41.3	8,004	43.7	△ 439	△ 2.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
形成外科	4,244	23.2	3,669	20.1	575	3.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
小児科	811	4.4	733	4.0	78	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
腎臓泌尿器科	2,213	12.1	1,922	10.5	291	1.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
産婦人科	2,149	11.7	2,151	11.8	△ 2	△ 0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
リハビ°リテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
放射線科	324	1.8	277	1.5	47	0.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
麻酔科	79	0.4	102	0.6	△ 23	△ 0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
血管外科	269	1.5	365	2.0	△ 96	△ 0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
皮膚科	1,220	6.7	2,824	15.4	△ 1,604	△ 8.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
透析	1,580	8.6	1,140	6.2	440	2.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
健診科・ドック	1,558	8.5	1,094	6.0	464	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
計	38,258	209.1	36,807	201.1	1,451	8.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 中間報告	令和元年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																																																									
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○質の高い医療の提供 生駒市の地域医療の問題点を踏まえ、政策的に実施すべき医療事業を確実に実施し、市民満足度の高い、質の高い医療を提供する。</p> <p>引き続き、腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組み、また、ダ・ヴィンチ手術については、対応できる症例の拡大を目指します。</p> <p>患者の意見から、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、患者の意見を反映した心温まる医療サービスの提供を目指します。</p> <p>○医療サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術件数（全体） 1,392 件 <ul style="list-style-type: none"> 外科 312 件 整形外科 240 件 形成外科 660 件 腎臓泌尿器科 60 件 産婦人科 120 件 ・分娩件数 168 件 ・産科交流会 ※母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行います。 ・医療機器等の整備 必要性・採算性などを検討の上、高度医療機器の整備を行います。 (導入予定機器) ・乳房X線撮影装置 (マンモグラフィ) ・高気圧酸素治療装置 ・高圧蒸気滅菌器の増設 	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、豊富なキャリアを積んだ医師や看護師、コメディカルスタッフがチーム医療で、患者にとってベストな治療・ケアを行います。</p> <p>引き続き、腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組み、また、ダ・ヴィンチ手術については、対応できる症例の拡大を目指します。</p> <p>患者の意見から、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、患者の意見を反映した心温まる医療サービスの提供を目指します。</p> <p>○医療サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術件数（全体） 656 件 ・分娩件数 80 件 ・産科交流会 12/21 開催予定 ・医療機器等の整備 (導入機器) <ul style="list-style-type: none"> ・手術用顕微鏡 ・整形外科手術台 ・関節鏡カメラシステム ・乳房X線撮影装置、高気圧酸素治療装置は下半期に導入・設置予定 ・高圧蒸気滅菌器増設は手術件数が予定より伸びなかったことにより、来年度以降増設する予定 	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、入院診療計画策定時から多職種が参加して最適な治療方法を策定するなど、チーム医療を実施しました。</p> <p>腹腔鏡下手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みました。</p> <p>患者の意見から、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、患者の意見を反映した医療サービスの提供に取り組みました。</p> <p>○医療サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術件数（全体） 656 件 ・分娩件数 80 件 ・産科交流会 12/21 開催予定 ・医療機器等の整備 (導入機器) <ul style="list-style-type: none"> ・手術用顕微鏡 ・整形外科手術台 ・関節鏡カメラシステム ・乳房X線撮影装置、高気圧酸素治療装置は下半期に導入・設置予定 ・高圧蒸気滅菌器増設は手術件数が予定より伸びなかったことにより、来年度以降増設する予定 	<p><科目別手術件数></p> <table border="1" data-bbox="1567 168 2249 436"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>外科</td><td>154</td><td>141</td><td>13</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>87</td><td>101</td><td>△ 14</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>321</td><td>319</td><td>2</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>17</td><td>19</td><td>△ 2</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>44</td><td>41</td><td>3</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>4</td><td>7</td><td>△ 3</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>25</td><td>12</td><td>13</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>4</td><td>5</td><td>△ 1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>656</td><td>645</td><td>11</td></tr> </tbody> </table> <p>・上記以外の件数 心臓カテーテル：76 件、PCI：46 件、内視鏡的手術：149 件 (平成 30 年度上半期：心臓カテーテル：75 件、PC I：33 件、内視鏡的手術：100 件)</p> <p>・主な外科手術例 結腸切除術、乳腺悪性腫瘍手術など</p> <p>・主な整形外科手術例 骨折観血的手術、人口関節再置換術など</p> <p>・主な形成外科手術例 皮膚皮下腫瘍摘出術、下肢静脈瘤血管内焼灼術など</p> <p><腹腔鏡下手術> (胸腔鏡下手術を含む)</p> <table border="1" data-bbox="1567 871 2062 940"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>件数</td><td>23</td><td>30</td><td>△ 7</td></tr> </tbody> </table> <p><ダ・ヴィンチ手術></p> <table border="1" data-bbox="1567 991 2062 1060"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>件数</td><td>1</td><td>6</td><td>△ 5</td></tr> </tbody> </table> <p>※対応症例は、前立腺がん全摘出のみ</p> <p><分娩件数></p> <table border="1" data-bbox="1567 1197 2101 1375"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">県内</td><td>市内</td><td>47</td><td>56</td><td>△ 9</td></tr> <tr><td>市外</td><td>15</td><td>9</td><td>6</td></tr> <tr><td>計</td><td>62</td><td>65</td><td>△ 3</td></tr> <tr><td>県外</td><td>18</td><td>12</td><td>6</td></tr> <tr><td>合計</td><td>80</td><td>77</td><td>3</td></tr> </tbody> </table> <p><助産制度の実績></p> <table border="1" data-bbox="1567 1486 2062 1556"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>件数</td><td>0</td><td>3</td><td>△ 3</td></tr> </tbody> </table> <p>※市立病院は、児童福祉法第 36 条に規定する助産施設 ・ハイリスク分娩への対応は、奈良県立医科大学附属病院と連携を取っています。(件数：1 件)</p> <p><DPC 病院> 平成 30 年 4 月に DPC※準備病院の届出をし、令和 2 年 4 月から DPC 対象病院となる予定です。 ※DPC:Diagnosis(診断) Procedure(行為) Combination(組合せ)の略で、急性期病院を中心に導入が進められている包括払い制度のことです。</p>		R1中間	H30中間	増減	外科	154	141	13	整形外科	87	101	△ 14	形成外科	321	319	2	腎臓泌尿器科	17	19	△ 2	産婦人科	44	41	3	放射線科	4	7	△ 3	血管外科	25	12	13	皮膚科	4	5	△ 1	合計	656	645	11		R1中間	H30中間	増減	件数	23	30	△ 7		R1中間	H30中間	増減	件数	1	6	△ 5		R1中間	H30中間	増減	県内	市内	47	56	△ 9	市外	15	9	6	計	62	65	△ 3	県外	18	12	6	合計	80	77	3		R1中間	H30中間	増減	件数	0	3	△ 3	<p>○助産師の充実、産後のサポートなど安心して出産できる体制が整っており、地域の診療所、助産所からの紹介や里帰り出産を多く受入れている。また、第 1 子出産後、2 子目と続けて出産される利用者が増えている。</p> <p>さらに、外国語に対応できる助産師を配置していることで、外国人の出産等にも対応できている。</p> <p>○質の高い医療提供、医療の効率化、透明化を実現するため、来年度の DPC 導入に向けて準備を進めている。</p> <p>課題 低侵襲な手術等の充実を図るため、健康保険適用疾患の範囲が広がりつつあるダ・ヴィンチ手術の技術認定医をグループ病院から招致し、当院で対応可能な症例範囲を増やす必要がある。</p>
	R1中間	H30中間	増減																																																																																										
外科	154	141	13																																																																																										
整形外科	87	101	△ 14																																																																																										
形成外科	321	319	2																																																																																										
腎臓泌尿器科	17	19	△ 2																																																																																										
産婦人科	44	41	3																																																																																										
放射線科	4	7	△ 3																																																																																										
血管外科	25	12	13																																																																																										
皮膚科	4	5	△ 1																																																																																										
合計	656	645	11																																																																																										
	R1中間	H30中間	増減																																																																																										
件数	23	30	△ 7																																																																																										
	R1中間	H30中間	増減																																																																																										
件数	1	6	△ 5																																																																																										
	R1中間	H30中間	増減																																																																																										
県内	市内	47	56	△ 9																																																																																									
	市外	15	9	6																																																																																									
	計	62	65	△ 3																																																																																									
県外	18	12	6																																																																																										
合計	80	77	3																																																																																										
	R1中間	H30中間	増減																																																																																										
件数	0	3	△ 3																																																																																										

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 中間報告	令和元年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題															
	<p>主要疾病（4 疾病）に係る医療体制 がん 地域がん診療連携拠点病院(近畿大学医学部奈良病院)と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制の充実</p> <p>脳卒中 近畿大学医学部奈良病院、奈良県総合医療センターとの連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制の充実</p> <p>急性心筋梗塞 近畿大学医学部奈良病院、奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・P C I が 24 時間 365 日可能な体制の充実</p> <p>糖尿病 かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療の充実</p> <p>○患者満足度の向上について ・入院・外来患者アンケート調査の実施</p> <p>・ご意見箱の内容に対応 アンケート調査の結果、ご意見箱の意見、改善の取組及び対応できない理由について、ホームページ・情報モニター・病院だよりで公表し、市立病院管理運営協議会へ報告します。</p> <p>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施</p>	<p>主要疾病（4 疾病）に係る医療体制 がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制を確保している。</p> <p>脳卒中 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センターとの連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制を確保している。</p> <p>急性心筋梗塞 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・P C I が 24 時間 365 日可能な体制を確保している。</p> <p>糖尿病 内科、循環器内科、形成外科及び血管外科において、かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療を実施している。</p> <p>○患者満足度の向上について ・入院・外来患者アンケート調査実施（実施期間 H31.3 月～R1.7 月） 患者満足度（総合評価の評点） 入院 88.1 点 外来 78.8 点</p> <p>・退院時に市立病院独自で患者アンケート調査を実施しました。（回答総数 430 件）</p> <p>・ご意見箱等の内容に対応 ご意見箱等の内容に迅速に対応するとともに、下半期にホームページ・情報モニター・病院だよりなどで公表し、生駒市立病院管理運営協議会へ報告する予定です。</p> <p>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 4/8 新入職員向け接遇研修 院内における接遇委員会を月 1 回開催（看護部では月 1 回服装チェックなどを実施） 毎日の朝礼にて、事務職員対象に接遇向上の周知</p>	<p>○主要疾病（4 疾病）に係る医療体制 <がん> ・手術件数：令和元年度上半期 42 件（平成 30 年度上半期 58 件）</p> <p>・がん患者の治療により生じる合併症や機能障害に対する早期回復等を図る取組として、平成 30 年 2 月から、医師、看護師、リハビリスタッフの 3 名のセラピストによるがんリハビリテーションを開始しています。</p> <p>・他病院との連携実績 近畿大学奈良病院 12 件、奈良県総合医療センター 2 件（平成 30 年度上半期 近畿大学医学部奈良病院 15 件）</p> <p><脳卒中> ・他病院との連携実績 奈良県総合医療センター1 件（平成 30 年度上半期 近畿大学医学部奈良病院 15 件、市立奈良病院 1 件、奈良県総合医療センター9 件）</p> <p><急性心筋梗塞> ・心臓カテーテル検査 76 件、P C I 46 件（平成 30 年度上半期 心臓カテーテル検査 75 件、P C I 33 件）</p> <p><入院・外来患者アンケート調査> 患者満足度（総合評価の評点）</p> <table border="1" data-bbox="1617 966 2018 1134"> <thead> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今回</td> <td>88.1</td> <td>78.8</td> </tr> <tr> <td>前回</td> <td>81.0</td> <td>79.3</td> </tr> <tr> <td>同規模</td> <td>79.8</td> <td>78.9</td> </tr> <tr> <td>G P 全体</td> <td>82.4</td> <td>78.8</td> </tr> </tbody> </table> <p><ご意見箱の内容> ・ドクターをはじめ、スタッフの皆さんには親切にして頂き、安心して診察が受けられます。感謝しています。 ・医師、看護師、OT、PT、助手の方、皆さんとても素敵なプロの方達で、入院して病院のよさが分かりました。私の母の入院生活を見て、私の娘も市立病院で出産させていただくことになりました。 ・会計の待ち時間がかかりすぎる。（回答：医事課職員のレベルアップを図ります。） ・食事の配膳時及び清掃時に病室のカーテンを閉めるなど、プライバシーに配慮してほしい。（回答：声掛けなどスタッフへの周知を図ります。） ・介助を必要とする患者への清拭の際の対応への配慮をお願いしたい。（回答：看護師に対し、接遇向上を図ります。） 令和元年度意見総数：入院 4 件、外来 6 件</p>		入院	外来	今回	88.1	78.8	前回	81.0	79.3	同規模	79.8	78.9	G P 全体	82.4	78.8	<p>○がん治療に関しては、外科手術後の放射線治療、血液のがん、肺がん及び悪性腫瘍など地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）との連携が行われている。</p> <p>○脳卒中については、奈良県総合医療センターと連携し、早期に検査・診断できる体制を確保している。</p> <p>○急性心筋梗塞について、内科的治療（P C I）は行えており、外科的治療が必要なときは、近畿大学奈良病院の心臓血管外科との連携体制を整えている。</p> <p>○糖尿病については、かかりつけ医との連携のもと、慢性合併症等の治療を実施している。</p> <p>○入院患者アンケートにおいて、前回調査や他病院と比べて、特に評価が高かったのは、医師及び看護職員の診察内容等、院内の雰囲気、清掃状況などの各項目であった。</p> <p>○アンケートの実施及びご意見箱の設置により、患者や利用者の声に耳を傾け、迅速に対応することで、市民満足度の向上につなげていく仕組みができています。</p> <p>課題 外来患者アンケートにおいて、医師の診察内容等は、前回調査や他病院と比べて評価が高かったものの待ち時間への配慮などにおいて評価が低かったことから、今後、待ち時間短縮に向け取り組む必要がある。</p> <p>課題 ご意見箱に頂いたご意見やよくある質問及び患者アンケートの集計結果については、ホームページや病院だより等での掲載内容をさらに充実したものにすることが必要である。</p>
	入院	外来																	
今回	88.1	78.8																	
前回	81.0	79.3																	
同規模	79.8	78.9																	
G P 全体	82.4	78.8																	

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 中間報告	令和元年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題								
<p>医療における安全管理に対する取組</p> <p>●安全管理マニュアルの策定について 各部署からリスクマネージャーを選任し、院内にリスクマネジメント委員会を設置します。また、リスクマネジメント委員会は隔週開催し、医療安全管理者を中心に報告事例をもとにマニュアル化したうえ、便覧を作成、各部署に配布し情報を共有します。</p> <p>●医療事故に対する対応について 発生した医療事故については、関係者から医療安全管理者へ迅速に報告し、その報告をもとに調査を行い、MRM（メディカルリスクマネジメント）委員会で分析したうえで、医療安全推進委員会で討議し対応の決定を行ないます。</p> <p>●院内感染対策について 感染防止委員会・リンクナース委員会をそれぞれ定期的で開催し、感染症発生の監視、院内感染の監視、職員の管理（予防接種等）、事故調査及び防止策の検討、職員に対する啓蒙と教育など、感染防止に対する取り組みを行ないます。</p>	<p>（医療安全管理体制について） 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めます。また、医療安全に関する市民への情報公開の方法等については、今年度発行予定の病院年報において、インシデント・アクシデントの包括的公表を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理委員会（毎月 1 回開催） ・医療安全カンファレンス（毎週 1 回開催） ・医療安全勉強会（年 2 回開催） <p>（医療事故に対する対応について） 医療事故発生時は、引き続き次の点について徹底し、院内の総力を挙げて迅速・的確に対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の安全確保と救命処置を最優先します。 ・病院内における事故等の報告を速やかに行います。 ・患者・家族への事実の説明を誠実かつ速やかに行います。 ・重大な医療事故の場合は、保健所等関係機関へ速やかに報告・届出を行います。 ・事故の再発防止策を早期に検討し、職員に周知徹底します。 <p>（院内感染対策について） 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策委員会（毎月 1 回開催） ・ICT 合同カンファレンス（偶数月参加） ・ICT ラウンド（毎週 1 回開催） ・感染勉強会（年 2 回開催） ・院内感染対策に係る地域医療連携（合同カンファレンス 年 2 回参加） 	<p>○医療における安全管理について（医療安全管理体制について） 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修を実施しました。</p> <p>さらに、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。</p> <p>また、医療安全に関する市民への情報公開の方法等については、下半期に発行予定の病院年報等において、インシデント・アクシデント件数の包括的公表を行う予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理委員会、医療安全カンファレンスについて計画どおり実施しました。 ・医療安全勉強会 ・7/31 8/5、8/7、8/9、8/14 合計 239 名参加 <p>（医療事故に対する対応について） 医療事故発生に備えて、日常から迅速・的確に対応できるよう体制を整えています。</p> <p>（院内感染対策について） 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策委員会、ICT 合同カンファレンス、ICT ラウンドについて計画どおり実施しました。 ・感染勉強会 ・7/10 82 名参加、7/11 57 名参加 7/12 58 名参加 合計 197 名参加 <p>（院内感染対策に係る地域医療連携） ・合同カンファレンス 6/11・9/10 開催 奈良県総合医療センターにて</p>	<p><病院事業計画との対比></p> <table border="1" data-bbox="1558 142 2297 273"> <thead> <tr> <th>病院事業計画</th> <th>令和元年度中間報告</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リスクマネジメント委員会</td> <td>医療安全カンファレンス</td> </tr> <tr> <td>医療安全推進委員会</td> <td>医療安全管理委員会</td> </tr> <tr> <td>感染防止委員会</td> <td>院内感染対策委員会</td> </tr> </tbody> </table> <p><医療安全管理委員会> 医療安全管理委員会は、委員長を副院長、副委員長を看護部長とし、その他、医師、看護師、コメディカルの各部門の責任者で構成されています。 医療安全管理委員会では、院内でのインシデント(ヒヤリハット)・アクシデント事例の情報共有と対策を検討しています。 通常想定されないようなインシデント事例やアクシデント事例が発生した場合は、臨時に医療安全管理委員会を開催するとともに、生駒市に報告する体制ができています。</p> <p><医療安全カンファレンス> 医療安全管理委員会の下に設置し、前週のインシデントレポートについて参加者が報告・情報共有・対策等を検討しています。</p> <p><安全管理マニュアル> 各部門に医療安全管理委員(リスクマネージャー)を置き、各部門で作成した詳細マニュアルを運用しています。 (転倒転落、患者確認、口頭指示、体内遺残防止、診断検査の重大な結果報告、手術患者・手術部位の誤認防止、摘出された臓器・組織・検体の取扱など)</p> <p><医療安全勉強会> ・7/31 8/5、8/7、8/9、8/14 合計 239 名参加 「ミスしやすい人その要因と対策」 講師：鈴鹿隆晃 野崎徳洲会病院 医療安全管理者</p> <p><院内感染対策委員会（ICT）> 院内感染対策委員会では、感染発生の監視、院内感染の監視、職員の管理（予防接種等）、事故調査及び防止策の検討を行っています。</p> <p><ICT 合同カンファレンス> 近隣の徳洲会グループ病院と合同で、近隣地域の感染症発生状況や各種サーベイランス等の討議報告を行っています。</p> <p><ICT ラウンド> 各部署を巡回し、医療事故やインシデントが起きやすい環境（物品の配置等）を指摘し、各委員会で報告し、改善を促す活動のことでです。</p> <p><感染勉強会> ・7/10、7/11、7/12「感染性廃棄物について」合計 197 名参加 講師：(株)メディカルウェイトシステム 羽田雄 氏</p> <p><院内感染対策に係る地域連携> 院内感染対策に係る地域連携として、看護師、薬剤師、検査技師で構成する感染防止対策チームが、専任の感染管理者を有する奈良県総合医療センターを中心とした合同カンファレンスに、白庭病院、東生駒病院、高の原中央病院、沢井病院、奈良医療センターとともに参加しました。 ・合同カンファレンス 6/11・9/10 開催</p>	病院事業計画	令和元年度中間報告	リスクマネジメント委員会	医療安全カンファレンス	医療安全推進委員会	医療安全管理委員会	感染防止委員会	院内感染対策委員会	<p>○院内感染対策に係る地域医療連携として、市内他病院を中心とする合同カンファレンスに参加し、市内等病院間の相互理解や情報共有を行うことで、地域医療連携を強化している。</p> <p>○医療安全勉強会及び感染勉強会については、同一内容の勉強会を複数回開催しており、できるだけ全職員が受講できるように努めている。</p> <p>課題 不特定多数の患者が集中する外来での感染症患者の見極めや院内感染の防止等、引き続き非常勤医師を含む全病院職員へのマニュアルの周知徹底を図る必要がある。</p>
病院事業計画	令和元年度中間報告											
リスクマネジメント委員会	医療安全カンファレンス											
医療安全推進委員会	医療安全管理委員会											
感染防止委員会	院内感染対策委員会											

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 中間報告	令和元年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○地域完結型の医療体制構築への寄与 地域の病院がそれぞれの機能を分担し、かかりつけ医との連携も含めた地域完結型の医療を目指し、また、患者を中心とした継続性のある医療を提供するため、前方連携と後方連携を考慮し、周辺の地域医療機関との病診連携や病病連携を積極的に推進する。</p> <p>地域医療の支援に対する取組 ●在宅支援機能の充実 地域連携バスや退院支援チーム等の取組みにより、在宅支援診療所との連携を図りながら、在宅への移行支援を行ないます。また、急性期医療の患者を対象とした在宅医療システムを検討実施します。具体的には、在宅患者の増悪事に対応する処置、入院加療用として 5 床を確保します。</p> <p>●開放型病床の設置 地域の開業医と連携することにより、診療の一貫性が実現できることから、医師会と病床数や運営方法を協議の上、開放型病床を設置します。</p> <p>●地域医療機関への医療教育プログラムの提供 次の取組を検討し、段階的に実施します。 ・診療科による他医療機関との合同症例検討会の実施 ・院内外の医療従事者に対する TCLS※又は AHABLS、AHAACLS トレーニング（ACLS に相当する指定管理者のプログラム）の継続的实施（2 年に 1 回程度） ・医療機関、救急隊との定期勉強会の実施（年 2 回程度）</p> <p>※TCLS 二次医療機関で行う救命救急における心肺蘇生法で、アメリカ心臓協会が認定しているコースである ACLS のガイドラインに基づいた実際の医療機器を使用したシミュレーション実習のこと。</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に貢献します。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。 入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図ります。 地域連携バスについては、県や地域の医療機関、医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。</p> <p>○開放型病床の設置について 開放型病床については、地域の医療機関や医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講演会、研修会、交流会を実施します。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進するために、TCLS（徳洲会二次救命処置法）などの対象者が広範囲で、地域医療の発展に寄与できるようなプログラムの充実に図るとともに、医療連携登録医をはじめ、地域の病院、診療所へ往訪し、PR や周知を強化します。</p> <p>・医療教育プログラム</p> <p>・病診連携懇話会</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に図りました。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行いました。 （令和元年 9 月 30 日時点） ・医療連携登録医 67 施設・82 名 ・協力医療機関連携施設 59 施設 ・地域連携バスは未実施 ・退院支援チームは実施 ・生駒市医療介護連携ネットワーク協議会の委員として院長が参加 ・生駒市医療介護連携ネットワーク協議会在宅医療介護推進部会及び入退院調整マニュアル運用ワーキンググループの委員として地域医療連携室の職員が参加</p> <p>○開放型病床の設置について 開放型病床は未実施</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした研修会を開催しました。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進するために、医療連携登録医をはじめ、地域の病院、診療所へ往訪し、案内するなど PR や周知を強化しました。</p> <p>・医療教育プログラム 新生児蘇生法講習会（NCPR） 6/23 24 名参加 医療メディエーター研修 9/7～9/8 24 名参加</p> <p>・病診連携懇話会は来年度に開催予定</p>	<p><医療連携登録医></p> <table border="1" data-bbox="1567 153 2065 226"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>67</td> <td>67</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療連携登録医は、医療連携登録医申請書の提出によるもの。 67 施設の内、市内クリニックは 30 施設・36 名 全市内クリニック（87 施設）の 34% 医療連携登録医からの紹介件数：566 件（市内 364 件、市外 202 件）</p> <p><協力医療機関連携施設></p> <table border="1" data-bbox="1567 453 2065 527"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>59</td> <td>54</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>協力医療機関連携施設（介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホームなど）と、連携契約書を締結しています。 協力医療機関連携施設からの患者の搬送件数：13 件</p> <p><地域連携バス> 治療を行った病院と地域のかかりつけ医とが患者の診療情報を共有できる「診療計画表」のこと。専門的な治療や検査は病院が行い、日常の診療などは地域のかかりつけ医が行うなど、役割分担し、連携しながら治療を進めることで、患者が退院後も住み慣れた地域で、切れ目のない治療を受けることができます。</p> <p><退院支援チーム> 市立病院の医師、専任の看護師、専従のメディカルソーシャルワーカーにより、患者の退院の計画を作成しています。 退院支援チームの実績（令和元年度 4 月～9 月） 入退院支援加算 565 件、介護支援連携指導 147 件、退院時共同加算 33 件、退院時訪問指導料 10 件</p> <p><生駒市医療介護連携ネットワーク協議会> 5/25 部会報告</p> <p><生駒市医療介護連携ネットワーク協議会在宅医療介護推進部会> 5/25 平成 30 年度活動報告・令和元年度スケジュール等 9/11 医療と介護の連携促進方法等</p> <p><開放型病床> ・患者のかかりつけ医と病院の医師が、共同して患者の治療を行える病床のこと。地域の先生方と連携して患者の治療にあたり、よりレベルの高い治療を目指すものです。 ・施設基準として、20 以上の診療所の医師登録、利用率 20% 以上の実績が求められ、実施については、引き続き検討します。</p> <p><NCPR(新生児蘇生法)> 標準的な新生児蘇生法の理論と技術を習熟することにより、新生児の救命と重篤な障害の回避が期待されるものです。</p> <p><病診連携懇話会> 医療連携登録医をはじめとした市内の診療所の医師を対象とした症例検討会の実施や市立病院への紹介件数や機器の共同利用実績の報告などを行うことにより、地域医療連携の推進を図るものです。</p>		R1中間	H30	増減	施設数	67	67	0		R1中間	H30	増減	施設数	59	54	5	<p>○在宅患者の増悪時の受け入れなど、在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院の役割を果たすため、市立病院と地域の医療機関等との連携が進められている。</p> <p>○生駒市医療介護連携ネットワーク協議会等、市の在宅医療・介護連携事業に参画することにより、市内の医療機関・介護事業所等のスタッフ間での「顔の見える」関係性づくりが進められている。</p> <p>○医師、専任の看護師、専従のメディカルソーシャルワーカーによる退院支援チームの活動や入退院調整マニュアルの積極的な活用により、退院後も切れ目のないケアを提供できている。</p> <p>課題 在宅支援機能をさらに充実させるためには、市内の医療連携登録医を増やしていくことで、地域の医療機関との連携強化を図る必要がある。</p> <p>○NCPR などの教育プログラムに、院内外の医療従事者などが参加している。</p> <p>課題 地域医療機関を対象にした医療教育プログラムなど、市内全体の地域医療の発展に寄与できるように、対象者が広範囲なプログラム等の提供を検討する必要がある。</p> <p>課題 病診連携懇話会については、医療連携登録医をはじめとした市内の診療所の医師を対象とした症例検討会、市立病院への紹介件数や機器の共同利用実績の報告などの内容を検討し、来年度の開催に向けて準備を進める必要がある。</p>
	R1中間	H30	増減																	
施設数	67	67	0																	
	R1中間	H30	増減																	
施設数	59	54	5																	

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 中間報告	令和元年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																												
<p>●周辺の他の医療機関との連携 新病院開院後は、医師会に加入し、医療機器の相互利用やグループ内専門医による研究会、合同カンファレンスの開催、医師会枠としての開放病床の取組を進めます。 また、連携に賛同された医療機関を写真入りで院内に公開する「かかりつけ医コーナー」を設置し、患者が自由に情報収集でき、希望に応じて紹介状の作成、予約確認等を行い案内するシステムを構築します。 また、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携等を図る観点から、医師会の協力のもと、地域の診療所や病院を支援する医療機関として、将来的には「地域医療支援病院」の承認を目指します。</p> <p>●地域医療連携推進のための組織・体制及び方法の整備 院内に地域医療連携室を設置し、専任職員（看護師・MSW・介護職員等で構成）を配置します。 この専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズに応え、相互の紹介をはじめ診療情報等提供を行ないます。 また、今後、さらなる地域医療連携を推進するため、医師会等とも十分に協議しながら地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築に向けての検討を行います。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への医療機能等の情報提供を積極的に行い、医師会への入会を目指します。また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器のオープン利用を引き続き推進します。 市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、「顔の見える関係性」を深めるとともに、会議の場において、積極的に情報提供をします。</p> <p>・オープン利用件数（年間） MRI 280 件 CT 100 件 内視鏡 20 件 エコー 20 件</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、積極的に PR します。</p> <p>（平成 32 年 3 月 31 日時点） ・医療連携登録医 80 施設 ・協力医療機関連携施設 80 施設</p> <p>地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、さらなる紹介率及び逆紹介率の向上を目指し、紹介された患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外でも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、その後の継続した観察を必要に応じて地域の診療所に逆紹介します。</p> <p>・紹介率 45% ・逆紹介率 20%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員（看護師 1 名・メディカルソーシャルワーカー 3 名・事務職員 1 名）を配置し、紹介・逆紹介及び入退院調整を推進します。 専任職員が地元医療機関を積極的に訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行ないます。 地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築については、やまと西和ネットへ参加します。 市が取り組む在宅医療・介護連携推進事業に参画することにより、地域の医療機関や介護事業者など関係者間の連携強化を図ります。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への入会を目指し、毎月、市立病院の医療機能等の情報提供を続けました。 また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器のオープン利用を引き続き実施しました。</p> <p>・医療機器のオープン利用件数（4～9 月） MRI 143 件（全利用件数 1,184 件） CT 59 件（全利用件数 3,276 件） 内視鏡 7 件（全利用件数 1,005 件） エコー 5 件（全利用件数 2,081 件）</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の拡大を目指し、地域医療連携室の職員が地元医療機関を訪問し、登録のメリットを PR しました。 （令和元年 9 月 30 日時点） ・医療連携登録医 67 施設・82 名 ・協力医療機関連携施設 59 施設 ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 802 件(H30 年度上半期 123 件)</p> <p>地域の医療機関との連携・協力体制を重視し、紹介された患者の受入れに努めました。 また、病状の安定した患者の逆紹介を促進するため、紹介を受けた患者については紹介元へ逆紹介することに加え、紹介を受けていない患者についても、地域医療連携室を通して、患者と相談しながら、患者の住居の周辺の医療機関などへの逆紹介に努めました。</p> <p>・紹介率 33.7% ・逆紹介率 14.7%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行いました。 地域共有型電子カルテネットワークシステムについては、「やまと西和ネット」へ参加しました。また、実際の運用を令和元年 10 月から開始しました。 さらに、市が取り組む在宅医療・介護連携推進事業に参画することにより、地域の医療機関や介護事業者など関係者間の連携強化を図りました。</p>	<p><医師会へ提供している情報> 市立病院の外来予定表、当直表、オンコール表など</p> <p><医療機器のオープン利用></p> <table border="1" data-bbox="1567 268 2065 457"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MRI</td> <td>143</td> <td>141</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>CT</td> <td>59</td> <td>45</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>内視鏡</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>△ 5</td> </tr> <tr> <td>エコー</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>△ 1</td> </tr> </tbody> </table> <p><医療連携登録医></p> <table border="1" data-bbox="1567 510 2065 590"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>67</td> <td>67</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医療連携登録医は、医療連携登録医申請書の提出によるもの。 ・67 施設の内、市内クリニックは 30 施設・36 名 ・全市内クリニック（87 施設）の 34% ・登録医であることを周知する「登録医プレート」を全登録医に配布</p> <p><協力医療機関連携施設></p> <table border="1" data-bbox="1567 779 2065 858"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>59</td> <td>54</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>協力医療機関連携施設（介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホームなど）と、連携契約書を締結しています。</p> <p><紹介率・逆紹介率等></p> <table border="1" data-bbox="1567 995 2243 1157"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>33.7</td> <td>33.3</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>14.7</td> <td>13.8</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>地域(市内)医療機関の市立病院利用率</td> <td>67.8</td> <td>77.9</td> <td>△ 10.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>・紹介率（紹介初診患者数＋初診救急患者数）÷初診患者数 $(1,316+806) \div 6,289 = 33.7\%$ ・逆紹介率 逆紹介患者数÷初診患者数 $926 \div 6,289 = 14.7\%$ （参考：紹介元の医療機関に返した入院患者数÷紹介による入院患者数） $164 \text{ 件} \div 302 \text{ 件} = 48.5\%$ ・地域(市内)医療機関の市立病院利用率 市内で紹介を受けた医科医療機関数÷市内医科医療機関数 $59 \div 87 = 67.8\%$</p> <p><地域医療連携室>（令和元年 9 月 30 日） ・看護師 1 名 ・メディカルソーシャルワーカー 3 名（内非常勤 1 名） ・事務員 1 名</p> <p><入退院支援加算></p> <table border="1" data-bbox="1567 1661 2065 1740"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>565</td> <td>312</td> <td>253</td> </tr> </tbody> </table> <p><やまと西和ネット> ・西和医療圏（生駒市他 1 市 7 町の医療機関、介護事業所を利用される方の病気、薬などの情報を共有（事務局：近畿大学奈良病院内、一般社団法人西和医療圏地域医療介護連携推進協議会） ・10 月に正式に稼動しました。</p>		R1中間	H30中間	増減	MRI	143	141	2	CT	59	45	14	内視鏡	7	12	△ 5	エコー	5	6	△ 1		R1中間	H30	増減	施設数	67	67	0		R1中間	H30	増減	施設数	59	54	5		R1中間	H30中間	増減	紹介率	33.7	33.3	0.4	逆紹介率	14.7	13.8	0.9	地域(市内)医療機関の市立病院利用率	67.8	77.9	△ 10.1		R1中間	H30中間	増減	件数	565	312	253	<p>○CT のオープン利用件数が増加するなど、市立病院の医療機器を地域の診療所等が利用することにより、医療連携が推進されている。</p> <p>○前年度と比較して、協力医療機関連携施設の登録数が増加している。</p> <p>○入退院支援加算件数が増加しており、退院困難患者の早期抽出、入院早期の患者・家族との面談、多職種連携カンファレンスを実施するなど、入院早期から退院後の生活を見据えた医療と介護の切れ目のない支援が推進されている。</p> <p>○地域の医療機関への情報提供等訪問回数が増加しており、地域の医療機関への周知の取り組みが強化されている。</p> <p>課題 地域医療機関との病病・病診連携の推進及び紹介患者の増加のためには、医師会との連携は不可欠であり、引き続き入会審査に対応していく必要がある。 また、患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外でも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、必要に応じて地域の診療所により一層逆紹介を進めていく必要がある。</p> <p>課題 地域医療連携室の専任職員による地元医療機関のニーズの把握及び市立病院の診療機能についての情報提供を充実させて、地域医療機関との連携体制をより一層強化する必要がある。</p>
	R1中間	H30中間	増減																																																													
MRI	143	141	2																																																													
CT	59	45	14																																																													
内視鏡	7	12	△ 5																																																													
エコー	5	6	△ 1																																																													
	R1中間	H30	増減																																																													
施設数	67	67	0																																																													
	R1中間	H30	増減																																																													
施設数	59	54	5																																																													
	R1中間	H30中間	増減																																																													
紹介率	33.7	33.3	0.4																																																													
逆紹介率	14.7	13.8	0.9																																																													
地域(市内)医療機関の市立病院利用率	67.8	77.9	△ 10.1																																																													
	R1中間	H30中間	増減																																																													
件数	565	312	253																																																													

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 中間報告	令和元年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																																																																																																									
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○救急医療の充実 本地域における二次救急医療に対応できる中核病院の必要性から、内科系、外科系、小児科系の二次救急医療の充実を図る。</p> <p>●救急医療体制 市内の二次救急体制で中心的な役割を果たすことを目指し、内科系二次・外科系一次二次輪番体制へ参加するとともに、北和小児科二次輪番体制等への参加や休日夜間応急診療所のバックアップを行います。さらに、救急告示病院として、市消防本部救急隊との連携連絡を緊密にし、かつ当直体制を開示し、24 時間体制での救急受入れをします。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="121 821 569 1056"> <thead> <tr> <th>診療分野</th> <th>稼働内容</th> <th>稼働回数(1月あたり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科系</td> <td>市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加</td> <td>内科系 5回</td> </tr> <tr> <td>外科系</td> <td>市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加</td> <td>外科系 5回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小児科</td> <td>奈良県北和小児科二次輪番体制への参加</td> <td>休日 2回 夜間 2回</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)</td> <td>10回(※1)</td> </tr> <tr> <td>産婦人科(※2)</td> <td>奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加</td> <td>10回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 現在、休日夜間応急診療所(メディカルセンター)で小児科医師が当直している火・木・土・日(うち火・木は 22:00～24:00 の当直)以外の曜日を小児一次救急担当日とし、開院当初は、当該担当日の月・水・金は 20 時から 24 時までは総合診療医を配置します。ただし、開院後 3 年を目途に小児科医師を 1 名増員することで小児救急の充実を図ります。</p> <p>(※2) 産婦人科については、一次・二次診療を行います。産婦人科緊急手術、分娩、ハイリスク分娩に対応します。但し、未熟児分娩が予想される場合は NICU を有する北和三次救急施設と緊密な連携を取り迅速な対応をします。</p>	診療分野	稼働内容	稼働回数(1月あたり)	内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5回	外科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	外科系 5回	小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2回 夜間 2回	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10回(※1)	産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10回	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。 奈良県総合医療センター、近畿大学医学部奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施します。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急受入件数 2,000 件 救急応需率 95.0% 市が開催する市内病院等との意見交換会に参加し、救急医療の連携強化を図ります。 市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たします。 北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、奈良県との情報交換をしながら、小児科常勤医師の増員に努めます。 北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な県からの参加要請に対応できるように、産婦人科の常勤医師のさらなる確保に努めます。 	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実に努めました。 奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施しました。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急受入件数 806 件(市内 483 件、市外 323 件) 救急応需率 97.7% 下半期に市主催の市内等病院との意見交換会及び市消防本部との意見交換会に参加予定 市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて常勤医師の当直体制を整えるとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、輪番病院のバックアップに努めました。 北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、引き続き北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席し、情報交換を行うとともに、小児科常勤医師の増員に努めました。 北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な奈良県からの参加要請に対応できるように、産婦人科常勤医師のさらなる確保に努めました。 	<p><救急要請件数></p> <table border="1" data-bbox="1564 153 2065 226"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>825</td> <td>978</td> <td>△ 153</td> </tr> </tbody> </table> <p><救急受入件数></p> <table border="1" data-bbox="1564 268 2065 394"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>483</td> <td>551</td> <td>△ 68</td> </tr> <tr> <td>市外</td> <td>323</td> <td>366</td> <td>△ 43</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>806</td> <td>917</td> <td>△ 111</td> </tr> </tbody> </table> <p><救急応需率></p> <table border="1" data-bbox="1564 436 2282 510"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急受入件数÷救急要請件数</td> <td>97.7%</td> <td>93.8%</td> <td>3.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p><ウォークイン患者受入件数></p> <table border="1" data-bbox="1564 604 2065 720"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>1,183</td> <td>1,386</td> <td>△ 203</td> </tr> <tr> <td>月平均</td> <td>197.2</td> <td>231.0</td> <td>△ 33.8</td> </tr> </tbody> </table> <p><救急患者の転送件数></p> <table border="1" data-bbox="1564 814 2065 972"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入件数</td> <td>806</td> <td>917</td> <td>△ 111</td> </tr> <tr> <td>県内転送</td> <td>18</td> <td>28</td> <td>△ 10</td> </tr> <tr> <td>県外転送</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>転送計</td> <td>26</td> <td>35</td> <td>△ 9</td> </tr> </tbody> </table> <p><救急患者の転送率></p> <table border="1" data-bbox="1564 1014 2065 1140"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内転送</td> <td>2.2%</td> <td>3.1%</td> <td>△0.9%</td> </tr> <tr> <td>県外転送</td> <td>1.0%</td> <td>0.8%</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>転送計</td> <td>3.2%</td> <td>3.9%</td> <td>△0.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p><参考：生駒市消防の救急搬送状況(全時間帯)>※</p> <table border="1" data-bbox="1564 1224 2172 1350"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>68.1%</td> <td>68.9%</td> <td>△0.8%</td> </tr> <tr> <td>市立病院</td> <td>20.6%</td> <td>24.4%</td> <td>△3.8%</td> </tr> <tr> <td>その他病院</td> <td>47.5%</td> <td>44.5%</td> <td>3.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p><参考：生駒市消防の救急搬送状況(当直時間帯)>※</p> <table border="1" data-bbox="1564 1392 2172 1518"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>63.3%</td> <td>66.1%</td> <td>△2.8%</td> </tr> <tr> <td>市立病院</td> <td>21.7%</td> <td>26.4%</td> <td>△4.7%</td> </tr> <tr> <td>その他病院</td> <td>41.6%</td> <td>39.7%</td> <td>1.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※市消防本部提供、速報値</p> <p><市内等輪番病院のバックアップ状況></p> <table border="1" data-bbox="1564 1612 2139 1696"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックアップ率</td> <td>45%</td> <td>59%</td> <td>△14%</td> </tr> </tbody> </table> <p>計算式 市立病院受入件数÷市内等輪番病院当番日拒否件数 (R1 中間：56 件÷124 件、H30 中間：63 件÷107 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> 7/17 令和元年度第 1 回北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席 		R1中間	H30中間	増減	件数	825	978	△ 153		R1中間	H30中間	増減	市内	483	551	△ 68	市外	323	366	△ 43	計	806	917	△ 111		R1中間	H30中間	増減	救急受入件数÷救急要請件数	97.7%	93.8%	3.9%		R1中間	H30中間	増減	件数	1,183	1,386	△ 203	月平均	197.2	231.0	△ 33.8		R1中間	H30中間	増減	受入件数	806	917	△ 111	県内転送	18	28	△ 10	県外転送	8	7	1	転送計	26	35	△ 9		R1中間	H30中間	増減	県内転送	2.2%	3.1%	△0.9%	県外転送	1.0%	0.8%	0.2%	転送計	3.2%	3.9%	△0.7%		R1中間	H30中間	増減	市内	68.1%	68.9%	△0.8%	市立病院	20.6%	24.4%	△3.8%	その他病院	47.5%	44.5%	3.0%		R1中間	H30中間	増減	市内	63.3%	66.1%	△2.8%	市立病院	21.7%	26.4%	△4.7%	その他病院	41.6%	39.7%	1.9%		R1中間	H30中間	増減	バックアップ率	45%	59%	△14%	<p>○救急科の常勤医師を確保したことにより、救急医療体制がさらに充実し、救急応需率が上昇した。</p> <p>課題 市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制のバックアップに努めており、引き続き関係機関へ協議を進めることで輪番体制への参加を実現していく必要がある。 北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、小児科の常勤医師の確保のため引き続き努力が必要である。</p>
診療分野	稼働内容	稼働回数(1月あたり)																																																																																																																																											
内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5回																																																																																																																																											
外科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	外科系 5回																																																																																																																																											
小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2回 夜間 2回																																																																																																																																											
	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10回(※1)																																																																																																																																											
産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10回																																																																																																																																											
	R1中間	H30中間	増減																																																																																																																																										
件数	825	978	△ 153																																																																																																																																										
	R1中間	H30中間	増減																																																																																																																																										
市内	483	551	△ 68																																																																																																																																										
市外	323	366	△ 43																																																																																																																																										
計	806	917	△ 111																																																																																																																																										
	R1中間	H30中間	増減																																																																																																																																										
救急受入件数÷救急要請件数	97.7%	93.8%	3.9%																																																																																																																																										
	R1中間	H30中間	増減																																																																																																																																										
件数	1,183	1,386	△ 203																																																																																																																																										
月平均	197.2	231.0	△ 33.8																																																																																																																																										
	R1中間	H30中間	増減																																																																																																																																										
受入件数	806	917	△ 111																																																																																																																																										
県内転送	18	28	△ 10																																																																																																																																										
県外転送	8	7	1																																																																																																																																										
転送計	26	35	△ 9																																																																																																																																										
	R1中間	H30中間	増減																																																																																																																																										
県内転送	2.2%	3.1%	△0.9%																																																																																																																																										
県外転送	1.0%	0.8%	0.2%																																																																																																																																										
転送計	3.2%	3.9%	△0.7%																																																																																																																																										
	R1中間	H30中間	増減																																																																																																																																										
市内	68.1%	68.9%	△0.8%																																																																																																																																										
市立病院	20.6%	24.4%	△3.8%																																																																																																																																										
その他病院	47.5%	44.5%	3.0%																																																																																																																																										
	R1中間	H30中間	増減																																																																																																																																										
市内	63.3%	66.1%	△2.8%																																																																																																																																										
市立病院	21.7%	26.4%	△4.7%																																																																																																																																										
その他病院	41.6%	39.7%	1.9%																																																																																																																																										
	R1中間	H30中間	増減																																																																																																																																										
バックアップ率	45%	59%	△14%																																																																																																																																										

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 中間報告	令和元年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																						
<p>●救急に対する人員体制 医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師及び事務職員の当直体制をとりま す。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人員体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常時</td> <td>内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制</td> </tr> <tr> <td>北和小児科二次輪番日</td> <td>通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日</td> <td>通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置</td> </tr> <tr> <td>北和産婦人科一次救急当番日</td> <td>通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直</td> </tr> </tbody> </table> <p>●診療科毎の対応レベル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対応レベル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>小児科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可</td> </tr> <tr> <td>産婦人科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)</td> </tr> </tbody> </table>		人員体制	通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制	北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直	休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置	北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直		対応レベル	内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)	外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)	小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可	産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を引き続き整備します。特に脳神経外科、整形外科等の常勤医師の確保に努め、当直・オンコール体制のさらなる充実を目指します。</p> <p>(夜間救急受入体制) ・医師 1 名の夜間時間外担当医及び 1 名の常勤当直医 専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2・3 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直</p> <p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続します。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を充実します。産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応します。</p>	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備するとともに、当直・オンコール体制のさらなる充実を図りました。</p> <p>(夜間救急受入体制) ・医師 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制 専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直</p> <p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続しました。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を維持しました。産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制が確立しています。</p>	<p><医師のオンコール体制> 消化器内科、循環器内科、外科、形成外科、腎臓泌尿器科、産婦人科、小児科</p> <p>・脳神経外科については、他病院との連携体制で対応 連携実績</p> <table> <tr> <td>近畿大学奈良病院</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>奈良県総合医療センター</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>野崎徳洲会病院</td> <td>4 件</td> </tr> </table> <p>・当直時間帯での CT、MRI 検査、心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術の各実績</p> <table> <tr> <td>CT</td> <td>734 件</td> <td>(H30 上半期実績 720 件)</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>72 件</td> <td>(H30 上半期実績 69 件)</td> </tr> <tr> <td>心臓カテーテル検査</td> <td>9 件</td> <td>(H30 上半期実績 2 件)</td> </tr> <tr> <td>内視鏡検査</td> <td>3 件</td> <td>(H30 上半期実績 5 件)</td> </tr> </table>	近畿大学奈良病院	2 件	奈良県総合医療センター	2 件	野崎徳洲会病院	4 件	CT	734 件	(H30 上半期実績 720 件)	MRI	72 件	(H30 上半期実績 69 件)	心臓カテーテル検査	9 件	(H30 上半期実績 2 件)	内視鏡検査	3 件	(H30 上半期実績 5 件)	<p>○当直可能な医師 2 名、看護師、放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員の 24 時間 365 日の救急受入体制が維持されている。</p> <p>課題 当直・オンコール体制に参加できる脳神経外科の確保及び整形外科の常勤医師の増員に努める必要がある。</p> <p>○24 時間 365 日、病院事業計画に掲げる CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院並びに心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術に対応可能な体制が継続されており、昨年度と比べて実績が伸びている。</p>
	人員体制																																									
通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制																																									
北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直																																									
休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置																																									
北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直																																									
	対応レベル																																									
内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)																																									
外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)																																									
小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可																																									
産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)																																									
近畿大学奈良病院	2 件																																									
奈良県総合医療センター	2 件																																									
野崎徳洲会病院	4 件																																									
CT	734 件	(H30 上半期実績 720 件)																																								
MRI	72 件	(H30 上半期実績 69 件)																																								
心臓カテーテル検査	9 件	(H30 上半期実績 2 件)																																								
内視鏡検査	3 件	(H30 上半期実績 5 件)																																								

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 中間報告	令和元年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																				
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○小児医療の充実 本地域における小児二次医療の充実の必要性から、地域医療機関との役割分担のもと、二次医療までの対応が可能な小児医療を提供する。</p>	<p>小児の救急対応、入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備を行います。</p> <p>○小児医療体制について ・医師の人員体制は、常勤医師の確保により、常勤医師 2 名体制を目指します。 ・北和小児科二次輪番体制への参加を目指します。</p>	<p>小児の入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。</p> <p>○小児医療体制について ・常勤医師 2 名体制を目指し、平成 30 年 1 月に着任した常勤医師に加えて、もう 1 名の確保に努めています。</p> <p>・北和小児科二次輪番体制への参加を目指し、北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席しました。</p>	<p>・小児科外来診療は、月～金までの間、常勤 1 名 非常勤医師 2 名による一診体制</p> <p>・7/17 小児科常勤医師が増員できた際、北和小児科二次輪番体制へ円滑に参加できるよう、令和元年度第 1 回北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席し、情報交換しました。</p> <p>・未熟児出産に関しては、NICU をもつ近畿大学奈良病院と連携しています。</p>	<p>○産婦人科と連携し、当院出生児の診察や 1 ヶ月健診を担当し、安心して出産できる体制を構築している。</p> <p>○小児アレルギー外来では、アレルギー専門医が、気管支喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎などの小児アレルギー疾患に対応している。</p> <p>課題 小児二次医療の充実や小児救急の実施に向け、引き続き常勤医師の確保に努める必要がある。</p>																																																				
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○災害時医療の確保 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な応急用医療資機材等を備えるなど、災害に対する緊急対応ができる機能を確保する。</p>	<p>大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。</p> <p>○災害時医療体制の確立について 災害対策マニュアルに沿って現場スタッフや地域住民による実地訓練を行います。</p> <p>・消防訓練（通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練） ・防災訓練（トリアージ・患者受入訓練・机上訓練） 市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、災害時の連携強化を図ります。</p>	<p>大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制整備をはじめ、機能の強化に努めました。</p> <p>○災害時医療体制の確立について ・5/10 市主催の防災行政無線通信訓練に参加</p> <p>・6/19 消防訓練実施（通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練）</p> <p>・防災訓練（トリアージ・患者受入訓練） 下半期に実施予定</p>	<p><消防訓練> ・6/19 実施 ・通報訓練、避難誘導訓練を実施した後、初期消火訓練の実施により、消防設備の位置、内容等について実地確認をし、確実に初期消火が行える体制を整えることができました。 ・訓練参加人数 25 人</p>	<p>○消防訓練を実施したことにより、参加職員の防災意識の向上につながった。</p> <p>○大規模災害時の医療救護にかかる防災行政無線の通信訓練に参加するなど、市医師会災害対策本部を中心とする市内救護病院との情報共有・連携体制の構築に努めた。</p> <p>課題 災害対策マニュアルに則り、医師、看護師など現場スタッフや地元自治会関係者が参加する防災訓練を引き続き実施する必要がある。</p>																																																				
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○予防医療の啓発 市立病院であることから、市民の公衆衛生意識の高揚を図るための講習を行うなど、市の保健行政と連携し、保健知識の啓発を図る。</p> <p>●疾病予防機能の強化について 疾病予防に向けて、メタボリック・シンドロームや生活習慣病等についての医療講演会を定例的に開催します。（講演会の講師は医師、看護師、管理栄養士、理学療法士等病院内のスタッフや院外の医療従事者が務めます。） また、市民健診や予防接種について、市医師会と連携して、二次健診の分担等の協力体制を整備します。</p>	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供します。</p> <p>また、市民健診については、地域の診療所では対応できない、又は対応できる医療機関が少ない二次健診等を充実していきます。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市民への予防医療の啓発として、認知症やうつ病、在宅医療など、市民の要望が多いものの市立病院スタッフで対応できない分野について、市が実施する医療講演会等に対して協力します。</p> <p>また、市民との交流、健康づくりを推進するため、自治会等各種団体への出張講座を積極的に実施します。</p> <p>乳がん検診など未実施の健診については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、実施の方向で進めます。</p> <p>・医療講演会（自治会等各種団体への出張講座含む）月 4 回程度実施 ・市民健診 大腸がん検診 220 件 胃がん(胃内視鏡)検診 200 件 肝炎ウイルス検診 40 件 特定健診 700 件 一般健診 550 件 人間ドック・脳ドック 550 件 その他団体健診等 1,100 件 ・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 330 件 肺炎球菌 150 件</p>	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。</p> <p>また、二次健診の受診増を目的として、市内医療機関への医療機能についての情報提供を充実しました。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市が実施した医療講演会を支援しました。 ・9/25「超高齢社会における在宅医療のあり方」56 名参加 胃がん（胃内視鏡）検診については、平成 29 年 9 月 1 日から引き続き実施しています。 乳がん健診の実施に向けて、下半期に乳房 X 線撮影装置（マンモグラフィ）を導入する予定です。</p> <p>・医療講演会 28 講座 参加者 728 名 出張講演会の募集を開始しています。（下半期は自治会へ啓発予定） ・市民健診 大腸がん検診 176 件 胃内視鏡検診 68 件 肝炎ウイルス検診 5 件 特定健診 505 件 一般健診 596 件 生活保護者等の健康診査 3 件 人間ドック・脳ドック 513 件 その他団体健診等 1,269 件 ・高齢者定期予防接種 肺炎球菌 36 件（H30 上半期 74 件） インフルエンザ予防接種は下半期に実施予定</p>	<p><医療講演会></p> <table border="1" data-bbox="1567 1010 2071 1108"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>28</td> <td>23</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>728</td> <td>1,008</td> <td>△ 280</td> </tr> </tbody> </table> <p><医療講演会の内容例> ・高血圧について ・糖尿病の検査について ・漢方薬の基本について ・がんの早期発見（たけまる健康講座 in よしもと芸術文化祭） ・下肢静脈瘤の治療（たけまる健康講座 in よしもと芸術文化祭）</p> <p><市民健診></p> <table border="1" data-bbox="1567 1430 2249 1734"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1中間</th> <th>H30中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>176</td> <td>81</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>胃内視鏡検診</td> <td>68</td> <td>89</td> <td>△ 21</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス検診</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>△ 2</td> </tr> <tr> <td>特定健診※ 1</td> <td>505</td> <td>348</td> <td>157</td> </tr> <tr> <td>一般健診</td> <td>596</td> <td>387</td> <td>209</td> </tr> <tr> <td>生活保護者等の健康診査※ 2</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>△ 4</td> </tr> <tr> <td>人間ドック・脳ドック</td> <td>513</td> <td>257</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td>その他団体健診等</td> <td>1,269</td> <td>1,305</td> <td>△ 36</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,135</td> <td>2,481</td> <td>654</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 1 生活習慣病を予防・早期発見するための健診です。 ※ 2 健康増進法施行規則第 4 条の 2 第 4 号に定める健康診査</p>		R1中間	H30中間	増減	件数	28	23	5	参加者数	728	1,008	△ 280		R1中間	H30中間	増減	大腸がん検診	176	81	95	胃内視鏡検診	68	89	△ 21	肝炎ウイルス検診	5	7	△ 2	特定健診※ 1	505	348	157	一般健診	596	387	209	生活保護者等の健康診査※ 2	3	7	△ 4	人間ドック・脳ドック	513	257	256	その他団体健診等	1,269	1,305	△ 36	合計	3,135	2,481	654	<p>○市立病院の医師や薬剤師等による予防医療の啓発に向けた医療講演会が、幅広い内容で目標を上回る回数で開催された。</p> <p>○市立病院として市民の健康づくりや疾病予防を図るため、出張講座にも取り組み、市民との交流、健康づくりの推進に努めている。</p> <p>課題 市民の健康づくりや疾病予防を促進するためには、院内の講演会の充実に加え、自治会や学校、企業、各種団体・グループ等広く地域社会に出向いていく出前講座の拡充が必要である。また、市民健診においては、二次検診の受診率の向上を目指し、健診後の二次検診(精密検査)の電話での事前予約など待ち時間の短縮を図り、円滑な受診体制の整備を検討する必要がある。</p>
	R1中間	H30中間	増減																																																					
件数	28	23	5																																																					
参加者数	728	1,008	△ 280																																																					
	R1中間	H30中間	増減																																																					
大腸がん検診	176	81	95																																																					
胃内視鏡検診	68	89	△ 21																																																					
肝炎ウイルス検診	5	7	△ 2																																																					
特定健診※ 1	505	348	157																																																					
一般健診	596	387	209																																																					
生活保護者等の健康診査※ 2	3	7	△ 4																																																					
人間ドック・脳ドック	513	257	256																																																					
その他団体健診等	1,269	1,305	△ 36																																																					
合計	3,135	2,481	654																																																					

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 中間報告	令和元年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題															
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○市民参加による運営 条例で設置された市民の代表が参加する病院事業推進委員会において、運営の基本となる病院事業計画、指定管理者との協定及び運営状況の改善について審議し、市民参加による病院運営を実現する。</p>	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進します。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催します。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み 入院・外来患者アンケート調査の結果、ご意見箱の意見、改善の取組及び対応できない理由について、院内掲示、ホームページでの公表、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告など広く市民等に周知します。 また、年度事業報告書に係る実施状況調査（中間報告を含む）について市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、年度事業計画に反映します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立病院管理運営協議会 入院・外来患者アンケート調査 ご意見箱の内容に対する対応 <p>○市民交流事業について 市立病院を市民に親しみを感じてもらうために、市民交流事業を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康フェスティバル 院内コンサート等 	<p>市立病院の運営状況等について、市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進しました。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催しました。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み ・市立病院管理運営協議会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院・外来患者アンケート調査を実施（実施期間 H31.3 月～R1.7 月） 患者満足度（総合評価の評点） 入院 88.1 点 外来 78.8 点 ご意見箱等の内容に対応 ご意見箱等の内容に迅速に対応するとともに、下半期にホームページ・情報モニター・病院だよりなどで公表し、生駒市立病院管理運営協議会へ報告する予定です。 <p>○市民交流事業について 市立病院を市民に親しみを感じてもらうために、市民交流事業を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康フェスティバル 6/16 約 500 名参加 院内コンサート等 12/7 クリスマスコンサート開催予定 	<p><生駒市病院事業推進委員会> ・下半期開催予定</p> <p><生駒市立病院管理運営協議会> ・7/23 令和元年度第 1 回会議開催 会議内容 平成 30 年度実施状況調査報告書(案)について</p> <p><入院・外来患者アンケート調査> 患者満足度（総合評価の評点）</p> <table border="1" data-bbox="1596 386 2006 548"> <thead> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今回</td> <td>88.1</td> <td>78.8</td> </tr> <tr> <td>前回</td> <td>81.0</td> <td>79.3</td> </tr> <tr> <td>同規模</td> <td>79.8</td> <td>78.9</td> </tr> <tr> <td>G P 全体</td> <td>82.4</td> <td>78.8</td> </tr> </tbody> </table> <p><ご意見箱の内容> ・ドクターをはじめ、スタッフの皆さんには親切にして頂き、安心して診察が受けられます。感謝しています。 ・医師、看護師、OT、PT、助手の方、皆さんとても素敵なプロの方達で、入院して病院のよさが分かりました。私の母の入院生活を見て、私の娘も市立病院で出産させていただくことになりました。 ・会計の待ち時間がかかりすぎる。（回答：医事課職員のレベルアップを図ります。） ・食事の配膳時及び清掃時に病室のカーテンを閉めるなど、プライバシーに配慮してほしい。（回答：声掛けなどスタッフへの周知を図ります。） ・介助を必要とする患者への清拭の際の対応への配慮をお願いしたい。（回答：看護師に対し、接遇向上を図ります。） 令和元年度意見総数：入院 4 件、外来 6 件</p> <p><健康フェスティバル> ・医療講演会（市立病院の医師 2 名・全国訪問ボランティアナースの会） 「地域医療と健康」 「健診のかしこい受け方」 「キャンパスって何ですか？～地域のなかでできること～」 ・市内小学校プラスバンドによるコンサート ・健康チェックコーナー、救命体験 ・薬剤師体験(お菓子を使った錠剤や散剤の分包体験等)、医療機器展示等</p>		入院	外来	今回	88.1	78.8	前回	81.0	79.3	同規模	79.8	78.9	G P 全体	82.4	78.8	<p>○生駒市立病院管理運営協議会では、指定管理者から提出された前年度の事業報告及び当年度の中間報告について、市が実施状況調査をした内容が報告されているほか、市民等の会員からの評価や課題等についての意見・提案を、直接、市長や院長に伝えることができる場となっている。さらには、次年度事業計画に反映する仕組みが整えられている。</p> <p>○入院・外来患者アンケートの実施により、外来・入院患者の病院への評価・満足度を、前回調査、グループ病院との比較の中で相対的に把握することができている。 また、総合評価だけでなく、治療内容、職員対応・サービスなどのソフト面や設備・環境などのハード面に加え、診療科、病棟ごとの個別評価をしている。</p> <p>○健康フェスティバルでは、市民に市立病院を身近に感じていただき、子どもからお年寄りまで楽しみながら体験できる場を提供できている。また、今年度も多くの方に参加して頂き、毎年の恒例行事として定着しつつある。</p> <p>課題 入院・外来患者アンケート調査結果を精査し、評価・満足度の高い項目は、さらに向上を目指す。 また、評価・満足度の低い項目は、原因を分析し、課題の抽出、改善策の検討を行い、具体的に次年度以降の計画に反映させる必要がある。</p>
	入院	外来																	
今回	88.1	78.8																	
前回	81.0	79.3																	
同規模	79.8	78.9																	
G P 全体	82.4	78.8																	
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○環境に配慮した運営 新病院の運営にあたっては、環境マネジメントシステムである ISO(国際標準化機構) 14000 シリーズの認証取得を目指す。</p>	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化します。 日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知することで、院内での省エネルギー化の啓発を図ります。 	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化しました。 日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化の啓発を図りました。 		<p>○市組織と同等の取組みが実施されている。</p>															
			<p><院内保育所> 院内 7 階バンビ保育園 ・保育時間 日勤 8:00~17:30 (365 日) 夜勤 16:00~ 翌日 10:00 (週 2 回 火・金) ・保育園児 対象 生後 2 か月~10 歳 (医師・看護職員のお子さん) ・保育士 人員 常時 2 名以上 実績見込</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育児童数 一日平均 9 人 (H30 上半期実績 7 人) 24 時間保育運営日数 24 日 (H30 上半期実績 31 日) 休日保育運営日数 34 日 (H30 上半期実績 31 日) 	<p>課題 医療従事者が引き続き働きやすい職場環境を整え、離職者の減少、新規雇用に繋げていくことが重要である。</p>															

収支

(単位 千円)

平成31年度事業計画 (令和元年9月末)		令和元年度中間報告		計画と報告の差額	
医業収入	2,031,502	医業収入	1,707,026	医業収入	△ 324,476
医業費用	1,954,956	医業費用	1,763,467	医業費用	△ 191,489
医業利益	76,546	医業利益	△ 56,441	医業利益	△ 132,987
その他費用	148,057	その他費用	138,237	その他費用	△ 9,820
医業外収益	21,000	医業外収益	9,718	医業外収益	△ 11,282
医業外費用	5,100	医業外費用	42	医業外費用	△ 5,058
経常利益	△ 55,611	経常利益	△ 185,002	経常利益	△ 129,391